

60th Anniversary
HIGASHISUMIYOSHI High School

大阪府立東住吉高等学校
創立60周年記念誌



教育方針

教養豊かな、たくましい自主創造性に富んだ人間の形成と、国家および社会に有為な形成者の育成とをめざし、あらゆる機会をとらえて鍛練することを目標として、徹底した学習指導、行き届いた生徒指導、充実した健康管理に力を注ぐ。また、環境の整備により生徒自らが情操を陶冶しうるように努める。

本校の象徴

1 緑

school color

希望を示す

2 公孫樹

school tree

知性を示す

3 薔薇

school flower

友愛を示す

校旗



校章



校章レリーフ
北館・中央館渡り廊下壁面に設置
(第39期生卒業記念品)

校旗について

本校創立3周年記念事業の一環として、PTAの好意で校旗を作製した。

地色は本校のシンボルとして定めたグリーン(希望)とし、中央には創立当初府の指導主事富田氏が工夫考案してくれた校章を染め出した。校章は人間教育の理想を象徴すると共に本校のはるか東方山上にまつられている信貴山の毘沙門天の紋に似せてある。則ち仏教の信仰によ

る知恵の神の紋に通じている。勉学を通じて知性豊かな人間を養成したいとの創業の精神の一端を表わしたものである。

私共は本校に学ぶ若い人々が希望に燃えて勉学にいそしみ、知性豊かな人間として、すこやかに成長せられることを心から祈っている。

(この文章は初代校長堀江駒太郎先生のものである。)

校章の由来

校章は単なる記号ではなく、その形態と校風に共通な支配力がはたらき、簡潔さは現代的聡明さを表わし、しかもそこに独自性が必要だろう。そのような意味から一般に校名やその土地の由緒と関連づけられたものが多いが、さて本校の校章はどうだろう。一見して変化が少なく簡潔で中心に英文字Hの入った所はちょっとモダンな形をしているが、基礎になっているのが人間教育に邁進するという意味で人の形をなしている。人という字は単純な一本調子でなく、三つの大きな方向を持っている。その上細部ではそれぞれ違った面を持っているが、勿論それらが秩序ある結合を持たねばならない。これは一人の人間の場合もまた人間の社会としても同等である。この基盤の上にHを中心に乗せ統合が強められている。Hはヒト、ヒューマン、東住吉、本当の教育、ハイスクール等の頭文字から来ている。

奇縁というか、人を基盤としたこの形が毘沙門の紋所に似ている。仏法守護の神部に四天王という、いわば才腕兼備の実力大将がいる。毘沙門はその随一で別名を多聞とも言う。この博識と実践の威徳は殊に優れ四方に普く聞こえわたる。特に東の守りを固めているこの毘沙門さまが守られているのが信貴山で、その開山みょうれんさんは宇治拾遺や絵巻物で卓抜な名僧知識振りを発揮して今日もあがめられている。わが校は間近にこの信貴山を仰ぎ見て、日夜この現世利益をなんらかの形で受け、また守ってもらうことが出来ればありがたいことである。(この文章は本校校章考案者、大阪府教育委員会指導主事、富田民治氏のものである。)



未完の物語であるために

第18代校長

福島 秀晃

梅雨、トタン屋根の仮校舎に雨が降れば、屋根をたたく音に授業の声がかき消されました。夏休みには教員と生徒と一緒にグラウンドの草を引き、土の中の石を掘り出して汗を流しました。暑かった。それでも、何も不満に思うことはありませんでした。

木造校舎が建ったとき、ほんとうに嬉しかった。

それからずっと、今でも、そしてこれからも“ヒガスマミ”のことは吾がことです。

本校1期生の方から伺った“ヒガスマミ”の原風景と“ヒガスマミ”へのパトスです。

昭和30年4月大阪市立摂陽中学校の一角に場所を借りて、大阪府立東住吉高等学校は開校しました。

どんな学校も役割を担うために設立され、役割を終えたとき閉校になります。

“ヒガスマミ”が創立60周年を迎えるということは、毎日、毎週、毎月、毎年、そして60年間、ずっと“ヒガスマミ”が時代の求める役割を、生徒の居住する地域の中で果たし続けてきたということにほかなりません。そして今も間違いなく役割を果たしているということです。

60年の伝統は継承されてきたものではなく、開校の日から休むことなく日々あらたに役割を果たし続けることで、つくられてきたものです。

伝統とは、昨日までの想定に基づく取り組みを磨き上げ、その伝承に労力を費やし、既存の価値や手法の維持に腐心するのではなく、学校の原風景にあった不易なる価値を時代の求める形にして流行に変えることで築かれるものです。

今、経済の世界でイノベーションという言葉をよく耳にします。教育にもイノベーションは必要です。

シュンペーターが示した産業のイノベーションの具体的な内容を教育に置き換えれば、教育のイノベーションの具体的な内容は、目標とする新しい生徒像の設定、新しい教育方法の導入、新しいリソースの供給源の獲得、新しい組織の実現といったところでしょうか。

イノベーションは技術革新でも大変革でもありません。

環境の変化を感知し、創造的に変化していくことです。変化を積み重ねることで、新たなビジネスモデルや

システムやサービスや製品を生み出す営みです。

教育が担うのは人材のイノベーションです。

芸能文化科が創設されて22年。そのカリキュラムは少なからず変貌しています。けれども、舞台・映像芸術と古典芸能の習得と探究を通して、大阪の芸能文化の発展に寄与できる人材を育成するという学科開設の目的は変わっていません。

国立劇場で照明機器を扱うもの、同じ国立劇場で三味線を演奏するもの、ミュージカルやレビューの第一線で活躍するもの、話芸やタレントの世界で人気を博するもの、劇団を主宰するもの。第16代故三上校長が愛してやまなかった芸能文化科は人材のイノベーションを実現し、芸能の演技、技術、制作の場に多くの人材を輩出しています。

また、故三上校長が掲げた「二兎を追い」という理念は第二の校訓といえるまでに生徒と教職員に共有されています。そこに経済、文化、科学などの海外の現場で仕事のできるリテラシーの養成という時代の要請を加えつつ、“ヒガスマミ”は第一希望の進路を実現するための学習に100%の力で取り組み、体育祭を中心とした自主的活動に100%の力で取り組んでいます。

知識基盤社会といわれる現代社会では、知識や情報を持っているか、そして、その知識や情報を使って新たな価値を生み出すことができるか、さらには人間関係を調整しながら価値を創造する営みを実行できるかが大きな意味を持ちます。

時代が求めているのは分厚い学力と野太い人間性をそなえ、グローバル化した社会で力を発揮できる人材です。

トタン屋根の雨音に先生の声が消されても勉強し、たくましく暑さの中で草引きをした原風景に始まった“ヒガスマミ”という物語が、次の60年も未完であることを願っています。

そのために“ヒガスマミ”が時代の求める役割に鋭敏であることを校長として求めるとともに、未来の“ヒガスマミ”もそうあることを願ってやみません。

学校は役割を担うために設立され、役割を終えたとき閉校になるのですから。



創立60周年を祝して

60周年記念事業実行委員長
(緑友会会長)

塩谷俊雄

母校の創立60周年、誠にありがとうございます。心からお祝い申し上げます。

第二次大戦・太平洋戦争が終結して10年近く、ようやく「戦争が終わった」と言われ出した昭和20年代の末から、旧・東住吉区(現在の東住吉区・平野区)の住民たちが地元で高校を、と誘致運動を繰り広げ、母校の建設が決まりました。

私は、私の通学する中学校のPTAの役員として、この運動に関わった父親から当時よくその苦労話を聞かされたものでした。

しかし、開校が決まったものの、母校のスタートは、大阪市立摂陽中学校の敷地内の古いバラック校舎からでした。私たち2期生はその校舎で入学試験を受け、現在地に移転した一棟の木造校舎で高校生活が始まったのですが、1年間仮住まいを余儀なくされた1期生の皆さんの新校舎に移った喜びは想像に難くなかったと思います。

新校舎に移っても、グラウンドは未整備で体育の授業は、もっぱらグラウンド整備に時間を割かれました。

通学路も未舗装で、雨が降れば、それこそどろんこ状態で難儀したものです。

今、母校の立派な校舎群を見るにつけ、この60年にわたるハード、ソフト両面の学校建設に携わったすべての皆さんのご尽力に深い敬意と感謝の念を覚えずにはおられません。

大阪の高校教育をめぐる動向は、学区制の廃止などによって今後様々な困難を学校現場にもたらすのではないかとこの深刻な危惧を抱かせるものです。しかし母校のすべての関係者の皆さんが、これまでの60年の歩みを踏襲し、日本国憲法と教育基本法などに立脚した教育の理念と実践を堅持されるなら、母校が生徒や保護者、地域社会との信頼と絆をいっそう深めて、これからの新たな60年に向けて勇躍進んでいくものと、私は確信するものです。

最後に、今日の母校創立60周年記念事業を成功させるためにご尽力いただいたすべての関係者の皆さんに心からのお礼と敬意を申し上げ、母校のいっそうの発展を祈念するものです。



伝統だった…

PTA会長

蒲生泰宏

「創立60周年」我が母校も順調に年月を重ね、内外に誇れる高校に成長しました。28期の私が学んでいた頃の東住吉高校は、まさに「自由」という言葉がぴったりの校風でした。私たちの期で、今では幻とまで言われている「第28回体育祭」がありました。今年は中止と言われ、反発した生徒だけで体育祭を行い、諸先生方を困らせながらも約500名の生徒の参加を募り見事成功した思い出があるなど、勉強もそっこのけのおよそ伝統とは無縁な高校生活を送っていました。その私が同級生と結婚し、息子が生まれ、その息子までもが東住吉高校にお世話になることに。

幻の体育祭の首謀者だった私は、恩返しの意味もありPTAの役員を引き受けました。久しぶりに懐かしい校門をくぐると、当時なかった芸能文化棟の姿とヒガミ生の元気な「こんにちわ！」の挨拶。母校の変わった姿に感心しながらよく見渡すと、在校中と変わらない校舎と下足室前からは吹奏楽部の「ぶ〜〜」これにサンガリアの工場から漂うしょうゆの匂い(*匂いの感じ方には個人差があります)と大阪市のゴミ収集車のオルゴールがあれば完璧なのに。とか。

5月の体育祭では圧倒的なヒガミ生の情熱に自分の熱い気持ちが、思わずこみ上げました。

「30年前と同じ」

同じことを同じように一生懸命頑張っている姿まで同じ。

些細な違いはあれど、紛れもなく進化した東住吉高校の姿。

今思えば伝統とは無縁なつもりで私達が過ごした3年間。その時本人たちが無意識であっても、当時から立派な東住吉高校の伝統継承者であり、それ以前から伝わる伝統の後継者だったという事実。

自由な校風や体育祭に代表される生徒の情熱、生徒の普段の優しさ、これこそ東住吉高校の伝統なんだと。

変わったのは芸能文化科が出来たこと。

昨年の卒業発表会では3年間の修練の成果を見せていただき、ものすごく感動しました。

その芸能文化科を率いる先生が我等28期の久下先生。

生徒たちやPTAの方々に慕われている姿を見て、私たちが在学中にも卒業生の諸先輩方が多数教壇におられ、熱心に指導して下さいました。

その芸能文化科も20年以上の歴史。

東住吉高校は芸能文化科という新しい伝統を得て、益々魅力的な高校として発展することを今では確信しています。

次の10年、東住吉高校が70周年を迎える時には、どんな高校に発展しているかが楽しみでなりません。

私はこの高校と出会い、PTAとしても携わる幸運に恵まれ、とても感謝しております。

創立60周年おめでとうございます。

と共に、東住吉高校にどんな形でも携わって頂いた全ての方々、素晴らしい高校に育てて頂き、ありがとうございますと御礼申し上げて、挨拶に代えさせていただきます。



大きな変革期に 勤務して

第15代校長
前川新三郎

創立60周年誠におめでとうございます。普通科、芸能文化科ともに生徒と保護者の要請に応え着実に発展していることを嬉しく思っています。

私が勤務したのは2006年度から2008年度の3年間でした。赴任当時、改革を進める私立高校の難関大学進学を柱にした生徒募集が急増していました。その影響を受けていた東住吉高校の入学志願倍率は1.1倍前後という状況が続いていました。そのような時に今度は公立高校通学区域改編が決まり、2006年度実施選抜試験(2007年度入学者53期生対象)から通学区域が9から4区域になることが決定されたのです。従来の東住吉高校希望者が大阪市内及び八尾市内にある人気の高い伝統の公立高校を志願できるようになったことから、公立高校間で新たな競合が起こりました。また「大阪市立咲くやこの花高校」に「演劇科」が開設(2008年度入学)され、芸能文化科に志願者が集まらない状況も生じました。普通科、芸能文化科ともに定員割れを起こす危機を迎えることになりました。

定員割れは、志願者数が不足するだけでなく、これまでの生徒のように様々なことに高い能力や興味関心を持つ意欲的な生徒が減少するという危機でした。そのようなことが起これば、生徒の自主的精神に裏付けられた従来からの東住吉高校の特色ある教育活動が成り立たなくなり、学校の成立基盤が崩れていくことになったでしょう。

その対応として、学校の改革(難関大学などへの進学実績を積み上げるための組織を挙げた進路指導と自主活動を重視した人間教育の両面から、高い評価を得る人気ある高校になるための改革)を推進しました。そして、それらの情報を各中学校に確実に届けるために何回も中学校を訪問したり、頻繁にHPを更新し、以下の情報を発信し続けました。

- ① 休日も開設する自習室の設置、1学年次からの放課後・長期休業期間中の進学講習の実施、早朝英単語小テストの開始など、大学進学への指導体制を強めていること。
- ② 伝統芸能領域と共に演劇領域と映像文化領域の3領域で構成される「舞台芸術学科に関する総合的な学科」としての「芸能文化科」がスタートを切り、大阪芸術大学・近畿大学との連携により指導教員を派遣してもらい芸能文化科の指導体制を豊かにしたこと。
- ③ 伝統の体育祭など、特色ある学校行事・部活動やチャリティ100kmリレーマラソンの実施等に、一層充実した形で取り組んでいること。
- ④ その他、国際交流基金設置(大阪阪南ロータリークラブから)、台湾修学旅行の準備、ラクビー部・柔道部・サッカー部・吹奏楽部の顧問を迎えたこと。

以上のような取り組みによって有効な対応ができ、志願倍率も安定しました。(普通科2005年度1.08倍→2006年度1.30倍、芸能文化科2007年度1.2倍→2008年度1.85倍*いずれも選抜試験実施年度)

憧れと目的を持って入学してくる生徒の力によって引き続き発展していく基盤が確保され、その後の東住吉高校を方向付けることができた時期だったと思います。

これからも、更なる発展を遂げてくれることを心より祈っています。



伝統よ、永遠に！

生徒会長
浅香佳幸

自分にとって2年生の期間は、会長として責任重大な1年間でした。

今までは先輩に従って仕事をこなしてきたのが、今度は自分が先陣を切っていかなければならないので不安でいっぱいでした。

しかし、先輩のバックアップもあり、なんとか仕事をこなすことができた体育祭の準備。

どの団にも負けじと声を張り上げる応援団、会場を盛り上げようと何度も練習を繰り返すアトラクション、小さなパーツから巨大なものを作るスタンド、個性豊かなキャラクターを形作るマスコット。

その一生懸命練習したり作業している姿は、2年生になっても感動したり、感嘆の声が出る毎日でした。

そして迎えた体育祭当日。各団の集大成となったこの日は、華やかで美しい姿を目の当たりにしました。ここぞとばかりに最大の力を振り絞って声を張り上げる応援団。息の合ったダンスを披露してくれたアトラクション。それらは全学年が一丸となった瞬間でした。

また、表彰式で涙する姿や閉会式終了後にスタンドやマスコットが解体された後の虚無感にどこか寂しい想いを抱き、またその感動は後期でも会長を務める自信にも繋がりました。

文化祭の後に続く後期では、すぐにチャリティーマラソンに向けた準備を始めました。

1年生当時の街頭募金を経験したのが自分一人だけという構成の後期メンバーでしたが、皆コツを覚えるのが早く、安心して活動に専念することができ、また優しく心温かい町内の皆様のおかげで、少ないながらもネパールの小学生に奨学金を贈ることができました。

そして最もお世話になった先輩方の卒業式。

仕事において様々な助言を頂いた感謝の念と共に、「今度は3年生として後輩のバックアップをしていかなければならないのか」という不安を抱きました。

ですが、式の直前に先輩方が生徒会室を訪れて励ましの言葉を頂き、その不安も幾分軽くなったのを覚えています。

そして創立60周年を迎えた平成26年。

体育祭を盛り上げる同級生は入学当初の時とは異なり、後輩をリードしている姿は凛々しく、たくましくなっていました。

そのたくましい姿や伝統が70周年、80周年と受け継がれているのか、それともその間に再び革命が起こるか期待が膨らみます。

校 歌 ◆

東住吉高等学校校歌

東住吉高等学校校歌

安西冬衛
野口源次郎

作詞
作曲

一 風きよし 銀杏の木陰

英知の門に 晴れたり金剛

独立夙に誇る 自主の精神

仰げわが友 峰の青雲

東住吉高等学校

二 道ながし 漆の堤

真理の窓に 栄あり平等

好学今に伝う 不朽の精神

通えわが友 星は永遠

東住吉高等学校

三 草わかし みどりのつどい

希望の庭に 幸あり青春

共学恒に讃う 自由の精神

香れわが友 薔薇は清純

東住吉高等学校

歴代校長 ◆



初代
堀江駒太郎
昭和30年3月16日より
昭和37年3月31日まで



2代校長
葭原泰雄
昭和37年4月1日より
昭和42年3月31日まで



3代校長
齊藤 貫
昭和42年4月1日より
昭和45年3月31日まで



4代校長
高木 隆
昭和45年4月1日より
昭和48年3月31日まで



5代校長
菊池通夫
昭和48年4月1日より
昭和54年3月31日まで



6代校長
北辻 要
昭和54年4月1日より
昭和58年3月31日まで



7代校長
亀田 弘
昭和58年4月1日より
昭和61年3月31日まで



8代校長
山本 登
昭和61年4月1日より
平成元年3月31日まで



9代校長
中田哲史
平成元年4月1日より
平成6年3月31日まで



10代校長
大黒和雄
平成6年4月1日より
平成10年3月31日まで



11代校長
久保貞夫
平成10年4月1日より
平成14年3月31日まで



12代校長
仲 慶謚
平成14年4月1日より
平成15年2月6日まで



13代校長
成山治彦
平成15年2月7日より
平成15年3月31日まで



14代校長
村田憲司
平成15年4月1日より
平成18年3月31日まで



15代校長
前川新三郎
平成18年4月1日より
平成21年3月31日まで



16代校長
三上和久
平成21年4月1日より
平成24年2月14日まで



17代校長
原田恵子
平成24年2月22日より
平成25年3月31日まで



18代校長
福島秀晃
平成25年4月1日より

各学年学級委員会

私たち学級委員会は、1クラスにつき2名選出の保護者によって構成されています。

地域密着の小中学校とは違い口コミ情報が殆どない中、委員会・コサージュ作り・チャリティーマラソン等を通しての交流の場は、とても有意義で大切なひとときです。

そして、何より嬉しいのは、生徒たちの笑顔に出会える事！ヒガスミ生の輝く笑顔を原動力に、保護者一同楽しく活動しています。うっとうしいくらい「愛」を込めて…



広報委員会

東住吉高校創立60周年、おめでとうございます！そして広報新聞「いちよう」は第28号の発行になります。ここ数年で「いちよう」は大きな変革を遂げました。保護者が知りたいヒガスミ生の様子を伝え、生徒が読みたくなるPTA新聞を目指して、どんどん進化してきました。創立60周年の今年は「永久保存したくなるPTA新聞」を目標にして作って行きたいと思っています。集まる機会の多い広報委員会は親睦も深まり楽しく活動させていただいています。



ヒガスミ祭参加

模擬店を出店し、PTAもヒガスミ祭を楽しみます。



企画厚生委員会

企画厚生委員会は、PTA同士の親睦を図るため、みどり会と合同で社会科見学を行っています。京友禅のハンカチ作りやアロマキャンドル作りなど、体験型のイベントを盛り込み、みなさんに楽しんで頂いております。



進路委員会

進路委員会は主に生徒やPTAのみなさまに卒業後の進路を決める手助けになるような活動を行っています。具体的には外部から講師の先生をお招きして行う進路講演会、100時間学習マラソン時には氷菓の差し入れ、親子大学見学会などで、その他に他委員会の支援として学内美化活動フラワープロジェクトへの参加、文化祭にはPTAブースの運営、チャリティーマラソン時の炊き出し支援、卒業生へ贈るコサージュ作りなどがあります。



人権生指委員会

人権生指委員会では、地域と学校と連携し、認知症サポーター養成講座を開催して認知症の正しい知識と接し方を学んだり、また、平野警察署と合同で事故防止啓発として自転車の反射プレートを取り付けて生徒達に安全指導を行いました。



チャリティーマラソン炊き出し

100kmチャリティーマラソンに参加したヒガスマ生に温かい「豚汁」と「かやくごはん」を炊き出して応援します。



合言葉は



ヒガスマ最高!!

フラワープロジェクト

たくさんの花でヒガスマ生を迎えよう!と年2回実施します。



コサージュ作り

卒業式に向けて卒業生と担任の胸に付けるコサージュをひとつひとつ手作ります。



式当日…感謝と応援の気持ちを込めたメッセージと共に卒業生に贈ります。



PTA役員一覧

年度(平成)	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
会 長	清水一意	山田恭之	山田恭之	吉田成稔	宇野亮三	宇野亮三	松村美江	松本昌二	松本昌二	蒲生泰宏
副 会 長	山田恭之	田中伊津子	田中貴美子	田中貴美子	石塚日路子	岩川利成	津地嘉代子	津地嘉代子	蒲生泰宏	平澤智子
副 会 長	山本早苗	堀本ゆかり	西野大輔	宇野亮三	松村美江	松村美江	松本昌二	浅香英典	平澤智子	小出由岐子
書 記	溝口弥生	溝口弥生	南川香月	森崎朱美子	堀久美	津地嘉代子	山田しおり	山田しおり	山田しおり	山田しおり
会 計	杉本好美	田中貴美子	堀久美	堀久美	志賀智子	志賀智子	蒲京子	蒲京子	蒲京子	守屋和子
会計監査長	堀久美	堀久美	少路律子	西野大輔	西野大輔	石塚日路子	岩川利成	近藤由美子	浅香英典	浅香英典
監査委員	田中伊津子	南川香月	門田昭子	門田昭子	森崎朱美子	幸田由美	中森晃子	森脇訓子	森脇訓子	宮田淳子
監査委員	近藤月江	佐藤澄子	佐藤絵里子	佐藤絵里子	佐藤絵里子	中森晃子	田中美智	田中美智	田中美智	宇佐美由香
監査委員	山崎千代子			志賀智子		山田しおり	藤井恭子	宮田淳子	藤井恭子	國枝由香
監査委員	田中貴美子							宇佐美由香	宮田淳子	左喜眞昌枝
監査委員	山田由美								宇佐美由香	向井淳子
監査委員									國枝由香	

みどり会

本会は、昭和35年に『私たちの子供が東住吉高校在籍中と同様、卒業後もお互いの親睦を図るとともに、学校の発展に協力していきたい』という趣旨で結成いたしました。

会則第2条に定めている「本会は会員相互の親睦を図るとともに、学校教育の発展を願い、PTA活動に側面より協力することを目的とする」を基に、初夏に総会、秋には現役のPTAの皆さんと一緒に親睦会、新春には互礼会を開催し、会員同士やPTAや先生方との親睦を深めています。また最近では、みどり会の活動報告・会計報告とともに東住吉高校の歩みを記載したみどり会便りを会員のご家庭に届けております。

過去には、体育館の緞帳や吹奏楽部の楽器などを寄贈してきました。



また、在任中に志半ばで逝去されました12代校長仲 慶謚先生、16代校長三上和久先生の熱き思いをみどり会が受け継ぎ、現在東住吉高校で行われる文化祭で、『ヒガスミ生らしいことをして学校を笑顔にしてくれたパフォーマー』に『みどり杯』を授与すること



で、お二人の愛情を未来につなげることができればと思っております。今後も東住吉高校のご発展とご活躍を念願するとともに全面的に協力していく所存でございます。

みどり会会長

平成17年度	橋本道雄 東新秀春
平成18～19年度	清水一義
平成20～22年度	山田恭之
平成23～25年度	宇野亮三
平成26年度	松本昌二



祝 創立60周年！

東住吉高等学校 みどり会
会長

松本昌二

大阪府立東住吉高等学校創立60周年おめでとうございます。みどり会の代表として、60周年の記念の年に、携われることに感謝しつつまた、誇りにも思います。

私達みどり会は、卒業した子ども達の保護者の会、端的に言うヒガスミPTAのOB会として昭和35年に発足し、現在に至ります。

今現在、会員数は170余名となっております。

みどり会は、東住吉高校の教職員の皆様、現役の生徒達、そして卒業生の団体である緑友会や後援会の方々と共に今まで歩んでまいりました。

そのヒガスミもはや創立60周年を迎えました。

みどり会としましても嬉しい限りです。ヒガスミを側面からサポートしてきたとは言うものの、一番学校とは縁遠い、関わりの薄い団体だと思います。しかし、ヒガスミを支えていきたい、何かしらヒガスミのために、という思いは、他の団体には負けてはいないと自負しております。

この思いは、今現在活動している会員の方々は言うに及ばず、残念ながら退会された方々も思いは変わっていないと思います。

そしてこれから、みどり会を支えて頂く新しい会員さんへ受け継いでいかなければならない命題だと考えております。

最後になりましたが、これからも東住吉高等学校がますます発展されますことをみどり会の代表として祈念し、お祝いのごとばいたします。



創立60周年を祝して

後援会会長

宇野亮三

この度、大阪府立東住吉高校が、創立60周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

創立の年に入学した方々は、あと数年で喜ぶ年をお迎えになる年齢になられます。

希望に胸膨らませ校門をくぐられたことでしょうか。また、1期生の先輩方々は、「使命の自覚」・「向上心」・「忍耐」を心に秘め学び舎の門をくぐったことでしょうか。60周年の佳節に、今一度初心に立ち返り、「学び」について考えてみてはどうでしょうか。

ある人は、知識を分け与えるために学び、創造と解決のために学ぶと言われています。

常に、他の人のため、より良い社会のために私たちは、向上心を持ち母校のためとの気概を持って進んでこられたのではないのでしょうか。そして今60周年の佳節を迎えました。

今年は、従来の式典・祝賀会等とは趣向を変え「カミング・ホーム・デイ」と銘打ち、多くの同窓の友が母校に集い「老けたな」「変わらないな」との旧交を温めておられることでしょうか。同じ釜の飯を食った仲間とは、幾つに成ってもその時代(10代)に返って行きます。

私は「ヒガスミ」の生徒又校風が好きです。

在校生は、常に「自我作古」の思いを持ち全てに体あたりで挑戦しています。

「二兎追える者は三兎追え」との伝統を全ての行事で発揮して行って欲しいと思います。

最後に、わが「ヒガスミ」で学んだ全ての方々が、今一度母校に帰り「使命の自覚」・「向上心」・「忍耐」の先にある人材群を、求め多くの方々が母校の土を踏みしめながら「温故知新」の一時をかみ締めて頂きたいと思います。ますます素晴らしい「ヒガスミ」が成長して行くようエールを送ると共に、常に見守って行きたいと思っております。

「ヒガスミ」最高!!!

緑友会 ◆

この10年の歩み

緑友会は昭和33年4月発足しました。発足当時の会長は1期生の辻拓也氏でしたが今は2期生の塩谷俊雄氏が会長に就任しています。近年同窓会の改革に取り組んできました。主な内容としては「緑友会報」の内容充実にも努めてきました。特に本年は特集「母校の今を知ろう」を5頁に亘って掲載し、生徒の活躍状況が判るように編集しました。送料を少しでも減らすように60名の会員ボランティアに手伝っていただき住所の判明した会員全員(15,500名)に送りました。

2点目は総会に多くの会員に参加して楽しんでいただけるように、総会の第2部で卒業生によるイベントを行っています。落語・講談・大道芸・音楽(カンゾーネやフラメンコギター・アコーディオン・スチールパンによる演奏)・本校芸能文化科学科長久下英孝教諭による講演などです。最近の総会の場所は芸能文化科の生徒が普段授業で使用している芸能文化棟と緑友会館1階の食堂を使用しています。1部は総会で諸案件の審議をし、2部はイベントを行い、3部は食堂で参加者全員で和気あいあいと懇親会を行っています。アルコール抜きですが、終了時刻を忘れるほどの盛り上がりです。

3点目は各期やクラブOB会の同窓会支援、また母校の東住吉高等学校が更に充実発展するように、学校や生徒への金銭的な支援をしています。今年度は全国高等学校総合文化祭書道部門に出展や男子ソフトテニス部・水泳部の近畿大会場などの優秀な成績を収めている部に支援を行いました。

そのほかに緑友会から学校に寄贈したものとしてはクラブ室の新設、緑友会館2階や体育教官室の空調設備です。今年の3月に57期生の新会員を迎え、緑友会は24,921名の会員を擁するようになりました。1期生は75歳になり57期生は19歳で歳の差は56年になりますが、世代を超えて、手を携えて、緑友会が何かの役に立てるようこれからも頑張っまいります。

緑友会役員名簿・事務局(平成26年6月29日)

名誉会長	福島秀晃 校長
会長	塩谷俊雄(2期)
副会長	能登康宏(3期) 坂田繁数(12期)
書記	吉田正博(1期) 武林茂樹(14期)
会計	井上保治(8期)
会計監査	福田勝弘(5期)
理事	辻拓也(1期) 北川吉平(4期) 喜多啓二(11期) 浜村茂(13期)
校内担当	吉川憲司(16期) 島本一彦(21期) 野口三四郎(23期) 山口正晃(23期) 久下英孝(28期) 芝野雄大(47期)
事務局	田中あつ子(1期・全般) 森本愛(50期・芸導会)



緑友会総会風景 平成26年6月



過去3ヶ年の緑友会報



緑友会報発送風景 平成26年6月



二兎を追え

故 三上校長のブログ(校長室)より(抜粋)

2009年4月8日(水)

8時40分からの始業式で、新2・3年生に着任の挨拶をしました。皆、真剣な眼差しで、静かに聞いていました。着任の喜びと責任の重大さを改めて感じた次第です。

おはようございます。校長として着任した三上です。
…(略)

……よく世間では「二兎を追う者は一兎をも得ず」といいます。一つのことに集中しなければいけないという意味で使われますが、私は皆さんにあえて「二兎を追え」といいたい。

私のいう「二兎」とはなにか。本校には体育祭をはじめとする学校行事に生徒諸君が前向きに一生懸命がんばるといふ、良き伝統があります。クラスメートや先輩たちと一緒に、一つのことを成し遂げるといふ、すばらしい経験ができる機会があります。そうした学校行事に取り組むパワーを、授業や日常の学習にバランス良く振り向けてほしいのです。

行事と授業を両立させ、それぞれの内実を高めていく力を東住吉の生徒は持っているとは私は確信しています。

目の前の易きに流されることなく、自分を信じ、自分の将来を見据えて日々の学校生活を大切にしてください。皆さんの可能性は無限です。覚悟と努力で道は必ず開けます。

今日からはじまる新年度の高校生活を悔いのないよう、有意義に過ごしてください。

挨拶を終えたあと、期せずして生徒たちから拍手をもらいました。新校長へのエールとしてしっかりと受けとめました。いっしょに「元気」な学校をつくっていきましょう！

2011年12月16日(金)

このたび、硬式野球同好会を設立することになりました。本校には、様々な要因によるものと思われませんが、今まで硬式野球部がありませんでした。しかし、生徒の創部希望は、断続的ではありますが存在していました。…(略)…57年間も創られなかった硬式野球が、今年度に、まず同好会から立ち上げることができたのは、過去の諸先輩方の想いや現在の生徒たちの“自分たちで新しい部を創りたい”という強い気持ちや取組みに加えて、その取組みを指導、支援する教員の存在がうまく重なったからだと考えています。

本校の硬式野球同好会は、これから“新しい歴史”を刻んでいくこととなります。同好会創設に関わった在校生の責任は重大であり、自覚を持って行動してください。

また、中学生の皆さんには「東住吉高校で硬式野球ができる」こと、「東住吉高校で“新しい歴史”のスタートに参加できる」ことを知ってもらって、志望校選びの参考にさせていただきたいと思います。

(最後のブログ)

2012年2月14日(火)

冷たい雨の降る朝です。今週の16・17日には芸能文化科の選抜受付を行います。また、週末の18日(土)には、第6回めの学校説明会(普通科のみ)を開催することになっています。志願者の皆さんは、体調管理を十分に、実力をフルに発揮できるようにしておいてください。

本校生も後期期末考査まで、あと11日となっていますので、気を引き締めて学年の総仕上げの考査に向けて取組んでください。

2012年2月14日、このブログが最後のブログです。この日の夕方、急逝されました。

【2012年11月15日(木) この日の職員会議で硬式野球同好会の部昇格が承認されました】

公式野球部のブログより(抜粋)

2012年(平成24年度)11月20日

現2年生が硬式野球部を作る活動を始めてから1年半…同好会結成から1年…。遂に、先週の木曜日、11月15日から『東住吉高校硬式野球部』として活動していきることとなりました。…(略)…

部として承認されたことを聞き、部員は喜びを噛みしめると同時に、責任の大きさを感じていました。…(略)…東住吉高校硬式野球部は、常に「感謝」と「謙虚」の気持ちを持ち、活動していきます。これからも応援よろしくお願いします。

2013年(平成25年度)4月20日

いよいよ明日、東住吉高校硬式野球部、初の公式戦が行われます。…(略)…

本で行われた練習のミーティング後には、新しく入部した1年生も含め、全員で肩を組んで声を出し、気持ちを高めていました。

また、同好会設立時の校長であった三上先生より頂いた、



「克己制全」と書かれた大きな横断幕を今日初めて生徒は目にし、興奮していました。この横断幕を見て、改めて支えてくださる人への感謝の気持ちを感じてくれたと思います。…(略)

2013年(平成25年度)8月8日

東住吉高校初めての夏の公式戦が7月11日に行われ、今宮工科高校に延長戦の末、敗れてしまいました。

東住吉 6-8 今宮工科



試合当日は、保護者・OB・先生・在校生など、たくさんの方に応援していただき、選手も持っている力を十分に出すことができました。本当にありがとうございました。

現在は、硬式野球部を設立した3年生が引退し、その意思を受け継いだ1・2年生が次の秋季公式戦を目指し、日々練習に励んでいます。今後とも東住吉高校硬式野球部をよろしくお願いします。

三上先生を偲んで

芸能文化科・社会科 桑原正光

本校教諭の三上先生と三上校長先生。その両方を存じ上げる者としてこれを書かせていただいておりますが、正直、なかなか偲ぶ気持ちになれません。「少し他所に行かれ、近々戻って来られる」ような気がするからです。

三上先生は“文化としての芸能”にご造詣の深い先生でした。その縁で平成10年に教諭として着任され、翌11年より芸能文化科7期生の担任を3年間務められました。そして担任明けと共に指導主事に行かれ、他高校の教頭を経て、平成21年春に第16代校長として東住吉に帰ってこられました。冒頭の

「近々戻って…」というのは、これが理由です。

教諭時代も学校長としても、“積極果敢・即断即決”が先生の姿勢でした。芸文科と学校全体の発展に自らが先頭に立ち、常に全力投球されました。私が三上校長先生の業績を一つ紹介することを許していただくとすれば、「(50数年来の悲願の)硬式野球部を創設」されたことを挙げたいと思います。そして今も東住吉の皆が口にする《ヒガスマ最高!!》と《二兎を追え!!》。三上校長先生が広められた言葉です。

校長として2年と10ヶ月半の在任。様々な学校改革の実現と志半ばの急逝。悲しいことではありますがやはり事実です。あの“情熱迸る・熱情溢れる・ネクタイの柄が目立つ”お姿こそが三上先生です。在りし日を思い出しつつ、静かにご冥福をお祈り申し上げます。

各期のページ

47期生 平成13~15年度

学校行事

- | | |
|---|--|
| <p>2001年</p> <p>4月 入学式</p> <p>5月 校外学習</p> <p>6月 体育祭</p> <p>9月 文化祭</p> <p>11月 校外学習(生駒山)</p> <p>2002年</p> <p>2月 耐寒訓練</p> <p>5月 校外学習</p> <p>6月 体育祭</p> <p>9月 文化祭</p> | <p>10月 芸文科10周年記念式典</p> <p>11月 修学旅行(沖縄)</p> <p>2003年</p> <p>1月 球技大会(ドッジボール・バレーボール)</p> <p>2月 耐寒訓練</p> <p>5月 体育祭</p> <p>7月 第9回卒業発表会(芸文科)</p> <p>9月 文化祭(コーラスコンクール)</p> <p>2004年</p> <p>2月 卒業式</p> |
|---|--|

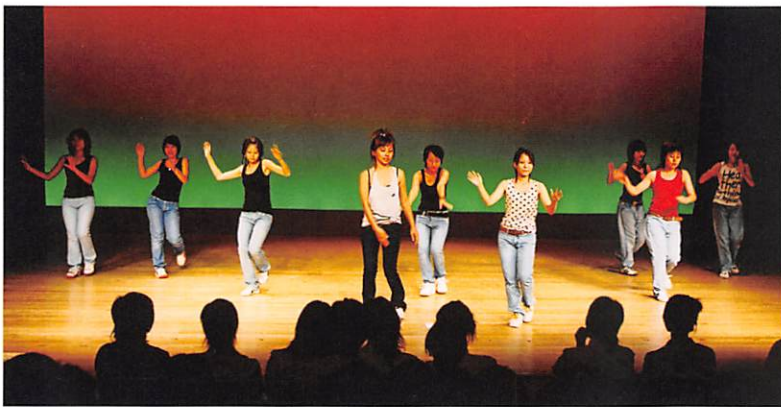
世間の出来事 2001~2003年

- | | |
|---|---|
| <p>2001年</p> <p>9月 東京ディズニーシー開園</p> <p>9月 アメリカ同時多発テロ事件発生</p> <p>11月 野依良治氏ノーベル化学賞受賞</p> <p>2002年</p> <p>10月 小柴昌俊氏ノーベル物理学賞受賞</p> | <p>12月 田中耕一氏ノーベル化学賞受賞</p> <p>2003年</p> <p>4月 郵政事業庁が日本郵政公社に</p> <p>9月 重傷急性呼吸器症候群SARSが世界的に流行</p> <p>12月 地上波デジタル放送開始</p> |
|---|---|

1年	
1組	荘司達雄
2組	和田吉夫
3組	泉谷比呂志
4組	吉波伸治
5組	吉田允彦
6組	富士義幸
7組	近藤昌宏*
8組	大上真紗世
9組	菊池一人
2年	
1組	荘司達雄
2組	菊池一人
3組	和田吉夫
4組	泉谷比呂志
5組	近藤昌宏*
6組	谷よしえ
7組	吉田允彦
8組	富士義幸
9組	吉波伸治
3年	
1組	荘司達雄
2組	谷よしえ
3組	富士義幸
4組	吉田允彦
5組	吉波伸治
6組	菊池一人*
7組	尾内幸子
8組	和田吉夫
9組	泉谷比呂志

*は学年主任





47期生の思い出

47期生学年主任 菊池 一人

創立60周年おめでとうございます。私ごとではございますが、東住吉高校を出てから早いもので、今年10年目になります。想えば13年間お世話になった東住吉は自分の卒業した高校(他府県)に非常によく似ていて、自分の母校のような愛着がありました。赴任した当時はまだまだのんびりした雰囲気があり、いい意味でも悪い意味でも大好きな学校でした。中でも体育祭の盛り上がり方にはびっくりするばかりで、流れは昔のままということで、47期も当然のごとく小屋から丸太を引き出し…その後はスタンド作りに、マスコット制作、その横でオウツス!!ソーレ!どんどん!ちゃかちゃか!近隣の皆さんごめんなさい!…特にこの年は新聞に「話題の体育祭」ということで、マスコットの鉄人28号の写真と内容が載って話題になったのを記憶してい

ます。また、修学旅行は沖縄・久米島、雲一つない空、マリンスルーの海、ボートでこぎ出し、浮かぶは真っ白な砂の無人島、そこに居るのは私たちだけ!この世の楽園でした。翌日はマングローブの林の中をカヌーで下りイリオモテヤマネコ、ヤンバルクイナに会い?(予定でしたがダメ!)楽しい旅でした。…そんなこんなで勉強はぼちぼち、クラブにも燃えに燃えたあつという間の3年間でした。あらためて幸多かれヒガスミ!!

48期生 平成14~16年度

学校行事

2002年

- 4月 入学式
- 5月 校外学習(東映太秦映画村)
- 6月 体育祭
- 9月 文化祭
- 10月 芸文科10周年記念式典
- 11月 球技大会(ドッジボール・バレーボール)

2003年

- 1月 百人一首大会
- 2月 耐寒訓練
- 5月 校外学習(ハーベストの丘)
- 5月 体育祭
- 9月 文化祭
- 10月 修学旅行(沖縄・久米島)

- 11月 人権学習映画(戦場のピアニスト)

2004年

- 1月 球技大会(ドッジボール・バスケットボール)
- 2月 耐寒訓練
- 2月 大縄跳び大会
- 4月 校外学習
- 5月 体育祭
- 7月 第10回卒業発表会(芸文科)
- 9月 文化祭(コーラスコンクール)
- 10月 創立50周年記念式典

2005年

- 2月 卒業式

世間の出来事 2004年

- 5月 日朝国交正常化交渉再開、拉致被害者家族5人帰国
- 7月 「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産に認定
- 10月 新潟県中越地震発生、新潟県中部で震度6強が三度発生
- 11月 東北楽天ゴールデンイーグルス誕生、1954年以来50年ぶりの新球団

1年	
1組	仲谷和泰
2組	政 真由美
3組	金戸道明
4組	松田研一
5組	檜垣 修
6組	中山博典
7組	木村 良
8組	奥野泰孝
9組	宇都宮裕子*
2年	
1組	仲谷和泰
2組	檜垣 修
3組	奥野泰孝
4組	木村 良
5組	宇都宮裕子*
6組	松田研一
7組	中山博典
8組	田内成人
9組	金戸道明
3年	
1組	田内成人
2組	奥野康孝
3組	檜垣 修
4組	中山博典
5組	宇都宮裕子*
6組	松田研一
7組	木村 良
8組	仲谷和泰
9組	金戸道明
9組	(亀田久美子)

*は学年主任





元気でパワフルな 48期生

48期生学年主任 宇都宮裕子

48期生は元気で活発な印象ですが、よく雨にたたられた学年でした。1年の最初の遠足も雨で行き先が変更。京都の太秦の映画村に行くことになりました。まだ生徒の顔と名前がわからず、東住吉高校の生徒と間違えてよその生徒に声をかけてしまったのを覚えています。この調子だと修学旅行も雨かしらと心配しましたが、2年生で沖縄に行った時は雨も降らず、みんなで楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

文化祭では1年から舞台などに挑戦し、積極的に学校行事を楽しんでいるようでした。3年生での体育祭でも、もちろん大活躍。ただ、その後でちょっと注意を受けることはありましたが、今となっては良い思い出でしょう。学校での様々なことを通してみんな成長し、そんな経験を生か

して今を生きているのだらうと思います。

担任団のメンバーは学年を追うごとに少し入れ替わりがありました。最後の年には金戸先生が体調を崩され、担任を途中交代、急遽亀田先生に担任団に入ってくださいとなりました。残念ながら、翌年、金戸先生は亡くなられ、葬儀に参列させていただきこととなりました。生前の先生の温かい人柄のせいでしょうか、多くの生徒が葬儀に参列し、先生を慕って葬儀の車へ駆け寄る姿を目にしました。

私事ですが、昨年、父が他界しました。大学で教鞭をとっていた父が最後まで大切にしていたのは家族と研究室の学生さんの写真でした。その写真には父が教えたほとんどの学生さんが写っていました。「自分の仕事の成果はこの素晴らしい学生たち。彼らがまた社会で成果を生んでくれる。」と父は病床で語っていました。これは教師が持つ共通した感情かもしれません。

元気でパワフルでかつ人間味あふれる48期生の皆さん、きっと様々なところで活躍されていることでしょう。私はそれが嬉しくてたまりません。どうか、皆さんが幸せでありますように。

49期生 平成15~17年度

学校行事

2003年

- 4月 入学式
- 5月 校外学習(京都・笠置)
- 5月 体育祭
- 9月 文化祭
- 10月 校外学習(布引の滝・ハーブ園)
- 11月 球技大会(ドッジボール・バレーボール)

2004年

- 1月 百人一首大会
- 2月 耐寒訓練
- 4月 校外学習
- 5月 体育祭
- 9月 文化祭
- 10月 創立50周年記念式典
- 12月 修学旅行(沖縄・石垣島)

2005年

- 1月 球技大会(ドッジボール・バスケットボール)
- 2月 耐寒訓練
- 2月 大縄跳び大会
- 5月 校外学習(USJ)
- 5月 体育祭
- 7月 第11回卒業発表会(芸文科)
- 9月 文化祭(コーラスコンクール)

2006年

- 2月 卒業式

世間の出来事 2005年

- 1月 スマトラ沖地震、M9.0の地震と大津波で死者行方不明者16万人以上
- 3月 日本国際博覧会「愛・地球博」開催
- 4月 JR福知山線で脱線事故、死者負傷者669名
- 10月 郵政民営化法案成立、郵政3事業民営化

1年	
1組	平井 薫
2組	松本 貴仁
3組	坂本 信子*
4組	田代 貢
5組	池田佳代子
6組	森安雄生
7組	水野義博
8組	松矢 壽和
2年	
1組	平井 薫
2組	坂本 信子*
3組	池田佳代子
4組	水野義博
5組	栗原正光
6組	松本 貴仁
7組	森安雄生
8組	松矢 壽和
3年	
1組	平井 薫
2組	坂本 信子*
3組	森安雄生
4組	栗原正光
5組	松矢 壽和
6組	水野義博
7組	池田佳代子
8組	松本 貴仁

*は学年主任





ヒガスミの本気

49期生学年主任 坂本 信子

「信子(呼び捨て?)ありがとう」卒業式最後の退場直前にクラス生徒から担任への感謝の言葉です。平成18年2月28日、教室で撮影したクラス写真が今も私の部屋で語ってくれています。楽しい3年間でした。長くて短い3年間でした。活発で元気が良くて、それでいて優しく思いやりのある49期生と共に過ごした3年間は、私にとって素晴らしい思い出となっています。石垣島への修学旅行では密林の中を進み、ようやく到着した河原で泳ぎだす生徒たちをヒヤヒヤしながら制止した事も今となっては懐かしい出来事です。朝、遅刻しそうになり下足ロッカーも通らず事務室横の階段を裸足で(マナーを守り、下靴を脱いで)駆け上がろうとする生徒たちを、毎日怒鳴っていた事もありました。センター試験対策の為の早朝講習(7時半開始)での生

徒の眼差しは真剣そのものでした。

体育祭の様子は朝日新聞に「ヒガスミの本気」と題して連載していただきました。教師も知らない公園での「引き継ぎ式」や役付きを選ぶための選挙の舞台裏までもが掲載されていて、毎日の購読が楽しみでした。声を枯らしての応援合戦は生徒たちの気持ちが燃え上がって一つになり、観客を震撼させる迫力あるものでした。ヒガスミの伝統と愛校心が増幅され引き継がれる瞬間です。

卒業生が良く口にする言葉「ヒガスミが良かった」は楽しい学校生活を過ごした証の言葉ですが、生徒たちの仲の良さや行事の満足度、そして授業の充実度にあるのでしょうか。近年は自習室も整備され「生徒の進路保障」に関してもかなりの実績を挙げておられると聞いています。今後ますます東住吉高校が発展される事を願って止みません。そして49期生全員が豊かで充実した毎日を過ごしている事と信じています。

50期生 平成16~18年度

学校行事

2004年

- 4月 入学式
- 4月 校外学習(奈良公園)
- 5月 体育祭
- 9月 文化祭
- 10月 創立50周年記念式典

2005年

- 1月 百人一首大会
- 2月 耐寒訓練
- 2月 ショークレスト高校との交流
- 5月 校外学習
- 5月 体育祭

- 9月 文化祭
- 10月 修学旅行(石垣島・西表島)

2006年

- 1月 大縄跳び大会
- 2月 耐寒訓練
- 5月 校外学習(USJ)
- 5月 体育祭
- 7月 第12回卒業発表会(芸文科)
- 9月 文化祭(コーラスコンクール)

2007年

- 2月 卒業式

世間の出来事 2006年

- 2月 平成の大合併、3,200以上の市町村数が1,998に
- 3月 王 貞治監督率いる日本がWBCで初代王者に
- 8月 早稲田実業、37年ぶりの決勝戦再試合を制し甲子園初優勝
- 8月 太陽系を冥王星以外の8個と新しく定義
- 9月 秋篠宮ご夫婦の新宮様、命名の儀により「悠仁」様に
- 10月 総務省、日本の人口1億2,776万7,994人と発表

1年	
1組	久下 英孝
2組	早川ひろみ
3組	柴田 潤子
4組	原 郁子
5組	樋口 明
6組	宮田早永子
7組	牛島 毅*
8組	小松 純子
2年	
1組	久下 英孝
2組	太田 俊明
3組	中坂 玲子
4組	宮田早永子
5組	牛島 毅*
6組	橋本 純子
7組	小松 純子
8組	樋口 明
3年	
1組	久下 英孝
2組	羽山 健一
3組	中坂 玲子
4組	宮田早永子
5組	牛島 毅*
6組	小松 純子
7組	樋口 明
8組	松本 貴仁

*は学年主任





50期生の思い出

50期生学年主任 牛島 毅

この原稿の依頼が来た時、もうあれから10年もたったのかという思いが頭をよぎった。10年前に50期生の担任団が発足した時、50という数字に何となく誇らしい気持ちと、そして半世紀という時の重みを感じたものである。だからといって何か特別なことをしたわけではない。ただ、校訓の『自主・独立』を何かにつけて生徒たちの前で掲げ、「自分で判断し、自分で行動し、それに責任を負える、そんな人物」と説明し、生徒たちの手で作るHR活動や行事を育ててきたつもりである。そのためか50期生の石垣島での修学旅行や伝統の体育祭の最終学年での団活動などは素晴らしい思い出となっているが、中でも忘れられないのは卒業式での出来事である。

司会が「閉式の辞」を告げ、これで3年間が無事に終

わったと力が抜けそうになったその時にである。一人の男子が立ち上がって「ちょっと待ってくれや、俺たちにも言いたいことがある」と大声で叫び、次々に卒業生が一人ずつ立ち上がっては何かを叫んでいるのである。一体何が起きたのか理解できず、頭の中は大混乱であった。そして最後に誰かの号令で全員の卒業生がこちらに回れ右をして、口をそろえて「先生、これまでありがとうございました」と叫んだのである。その瞬間に体育館の中でくす玉が割れ、「先生、ありがとう」と書かれた垂れ幕が降りてきた。ここにきてやっと何が起きたのかわかり、改めてこの生徒たちとの3年間が自分にとっても素晴らしいものであったのかが痛感された。

あの50期生たちは今はどうしているのだろうか。さらに成長して立派な若者になっているだろうか。また会える日を楽しみにしたい。

51 期生 平成17~19年度

学校行事

2005年

- 4月 入学式
- 5月 校外学習
- 5月 体育祭
- 9月 文化祭
- 11月 球技大会(ドッジボール)

2006年

- 1月 百人一首大会
- 2月 耐寒訓練
- 5月 校外学習
- 5月 体育祭

- 6月 修学旅行(北海道・洞爺湖)
- 9月 文化祭

2007年

- 2月 耐寒訓練
- 5月 校外学習(USJ)
- 5月 体育祭
- 7月 第13回卒業発表会(芸文科)
- 9月 文化祭(コーラスコンクール)

2008年

- 2月 卒業式

世間の出来事 2007年

- 2月 第1回東京マラソン開催
- 3月 世界フィギュア女子、安藤美姫が初優勝
- 3月 能登半島沖地震発生、死者負傷者357人
- 5月 石川 遼選手、日本男子ツアーで史上最年少優勝
- 6月 島根県「石見銀山遺跡とその文化的景観」を世界遺産の文化遺産に登録
- 9月 トヨタの07年生産台数942万台、GMの928万台を抜き首位へ
- 9月 JAXAの月周回衛星「かぐや」搭載のH2Aロケット13号打ち上げ成功

1年	
1組	中出 昇
2組	中岡 照夫
3組	亀田久美子*
4組	小阪 義三
5組	蠣田美穂子
6組	和田 吉夫
7組	延命輝光
8組	渡辺直之
2年	
1組	中出 昇
2組	富士 義幸
3組	亀田久美子*
4組	中岡 照夫
5組	小阪 義三
6組	渡辺直之
7組	和田 吉夫
8組	延命輝光
3年	
1組	中出 昇
2組	延命輝光
3組	中岡 照夫
4組	小阪 義三
5組	富士 義幸
6組	渡辺直之
7組	和田 吉夫
8組	亀田久美子*

*は学年主任





共に遊んだ3年間

51期生学年主任 亀田久美子

“ラフティング言葉わからぬマヘイジにひきあげられし
我も浮かびて”

修学旅行で北海道に行った時に作った短歌である。皆にも作ってもらったので、記念短歌集が手元にあることだろう。職員劇で「水戸光圀」をやったのを覚えていることだろう。50の歳で、何でも生徒達と一緒に楽しめたことが嬉しかった。

体育祭、文化祭がやはり心に残る。補佐の相手が演技中骨折し、涙を浮かべながら一人で演技した彼女の姿がアルバムに残っている。いちょうといちょうの間を抜けられず、苦心して立てたマスコット。崩れそうなスタンドで必死に応援していた面々、さらしがずり落ちそうになりながら口上を述べていた団長たち。応援、アトラクションの真剣な演武に圧倒されていた。

模擬店、演劇でのにこやかな笑顔が思い出される。特に

芸能文化科の寄席は、毎年大入り満員で笑いが絶えなかった。コーラス大会も3年生だというのに、各クラスしのごを削っていた。

51期の学年を立ち上げる時、担任団の先生方と、どんな生徒達に育てるか熱心に話し合った。ヒガスミの校風は自主独立で自由なものだが、その中に規律あるしっかりとした精神を持たせたいとスローガンを立てて生徒達と接していった。たしか三原則を打ち立てて向かっていったことを覚えている。当たり前のことだが、授業を大切に、きちんとした学力をつけることに主眼を置いた。

大学卒業後、教師になった生徒が多いことに驚く。私たちがそんなに楽しくしていたのかと思いきこされる。「あんな先生もいたな」と身近に感じてくれていたのかもしれない。「あんなんでもいいんや」と思ってくれたのかもしれない。

東住吉の生徒達と共に歩んだ13年間は、教師冥利につきることが多かった。卒業時に似顔絵をくれた「I」君、修学旅行の記念誌の表紙を飾っている。イラストレーターとして大成していることと思う。

“教師して修旅の付き添い数あれど51期は過去最高かな”
延命先生の作品もここに紹介しておく。

52期生 平成18~20年度

学校行事

2006年

- 4月 入学式
- 5月 校外学習(神戸市立森林植物園)
- 5月 体育祭
- 9月 文化祭

2007年

- 1月 百人一首大会
- 2月 耐寒訓練
- 5月 校外学習
- 5月 体育祭
- 7月 修学旅行(北海道・然別)
- 9月 文化祭

2008年

- 1月 球技大会(ドッジボール)
- 2月 耐寒訓練
- 5月 校外学習(USJ)
- 5月 体育祭
- 7月 第14回卒業発表会(芸文科)
- 9月 文化祭(コーラスコンクール)

2009年

- 2月 卒業式

世間の出来事 2008年

- 1月 大阪府知事に弁護士でタレントの橋下徹氏が初当選
- 5月 中国四川省を震源とする大地震で犠牲者多数
- 8月 全米テニス、錦織 圭選手日本男子71年ぶりに16強入り
- 10月 南部陽一郎氏、小林 誠氏、益川敏英氏ノーベル物理学賞受賞
- 11月 全国29万5,000人の裁判員候補者へ通知書発送
- 12月 東京タワー開業50周年を迎える

1年	
1組	和田直己
2組	武林茂樹
3組	荘司達雄
4組	木村 良*
5組	田中和公
6組	竹田紀子
7組	尾内幸子
8組	嶋田大子
2年	
1組	和田直己
2組	田中和公
3組	竹田紀子
4組	池田佳代子
5組	武林茂樹
6組	嶋田大子
7組	木村 良*
8組	兵部雅彦
3年	
1組	和田直己
2組	武林茂樹
3組	田中和公
4組	池田佳代子
5組	竹田紀子
6組	嶋田大子
7組	木村 良*
8組	兵部雅彦

*は学年主任





明るく確かな未来を

52期生学年主任 木村 良

60周年おめでとうございます。私は2001年に赴任し、2009年まで勤務いたしました。確か男女混合名簿になった最初の年だったと記憶しています。体育館で整列するのに、生徒たちは大変戸惑っていた記憶があります。この学校に来ての印象は生徒がとても伸び伸びと活動していたことでした。驚いたのは、やはり体育祭でした。みんな生き生きとしい顔をしていました。どうしてここまでやれるのか不思議でした。後で聞きましたが、全員がその性格や能力に応じ何らかの役割を果たし、体育祭を作り上げていけるすばらしいシステムを作った先人達の知恵に感心しました。48期生と52期生を担任し、52期生と共に本校を卒業(定年退職)しました。52期生は雨に崇られていたようで、確か入学式もすごい雨、遠足の日も雨(1年生も2

年生も)、修学旅行もあまり良い天気とは言えず「ナイトウォッチング」ができなかったことを残念に思っていた生徒も少なくなかったようです。3年生の時の体育祭も雨が降っていたように思います。確か職員リレーの時、私が傘をさしたまま走り、鬨聲を買った記憶があります。梅雨の時期にしか設定できないという事情もありますが、スタンドやマスコットの製作が本番に間に合うかどうか常に心配したものでした。文化祭ももっと良いものになればと思っていましたが、欲張りでしょうか。或いは今は違ったものになっているのでしょうか。学校教育が少しずつ管理主義的になっているように見え、あの伸び伸びと、生き生きとした学園らしい雰囲気が失われてゆきはしないかと心配しています。52期生も今は立派な社会人になっていることでしょう。皆さんの若い力で正直者が馬鹿を見ることのない明るい未来を築いて行って下さい。また、あなた方ならできると信じています。私も私なりにできることをしていきたいと思っています。

53期生 平成19~21年度

学校行事

2007年

- 4月 入学式
- 5月 校外学習(淡路島、北淡町)
- 5月 体育祭
- 9月 文化祭

2008年

- 1月 百人一首大会
- 2月 耐寒訓練
- 5月 校外学習
- 5月 体育祭
- 9月 文化祭
- 12月 修学旅行(北海道ルスツスキー・小樽)

2009年

- 2月 耐寒訓練
- 2月 球技大会(ドッジボール・バレーボール)
- 4月 校外学習(USJ・その他)
- 5月 体育祭
- 7月 第15回卒業発表会(芸文科)
- 9月 文化祭(コーラスコンクール)

2010年

- 2月 卒業式

世間の出来事 2009年

- 1月 バラク・オバマ新大統領が第44代大統領に就任
- 3月 第2回WBCで原辰徳監督率いる日本が連覇
- 5月 裁判員制度スタート
- 6月 マイケル・ジャクソン氏が50歳で死去
- 8月 民主党が308議席を獲得し、政権交代
- 10月 オバマ米大統領がノーベル平和賞受賞
- 11月 新型インフルエンザ患者約898万人に
- 11月 政府による「事業仕分け」で1兆8,000億円の無駄を指摘

1年	
1組	下農 忠司
2組	中野 一彦
3組	小林 正恒
4組	林出 安生
5組	近藤 祐子
6組	山上 進*
7組	荒木 一郎
8組	中口 隆治
2年	
1組	下農 忠司
2組	近藤 祐子
3組	林出 安生
4組	中野 一彦
5組	小林 正恒
6組	荒木 一郎
7組	中口 隆治
8組	山上 進*
3年	
1組	下農 忠司
2組	近藤 祐子
3組	荒木 一郎
4組	小林 正恒
5組	中野 一彦
6組	林出 安生
7組	中口 隆治
8組	山上 進*

*は学年主任





普通科53期(芸文15期)と 「北海道」と「体育祭」

53期生担任 中野 一彦

53(芸能文化科15)期生が卒業してはや4年がたち、進学した人たちもその多くが社会人としての歩みをスタートしています。担任団はほとんどが転勤・退職し、ヒガスミに残っている者も少なくなりました。私はヒガスミ赴任2年目で53期生の担任団に入りました。学区再編が行われた初年度の入学生だということもあり、自分自身が緊張しながら入学式を迎えたことが昨日のここのように思い出されます。それからの3年間、担任をしたクラスの生徒はもちろん、授業でふれあった生徒、行事・部活動で活躍した生徒など、多くの顔が目に浮かびます。

なかでも深く心に残っているのは、2年次の「北海道スキー修学旅行」と3年次の「体育祭」です。ヒガスミではさまざまな修学旅行を実施してきました。私は「53

期生修学旅行」の企画・運営主担を任せられ、体育科の中口隆治先生と共に「一生の思い出に残る修学旅行に！」をコンセプトにしました。修学旅行ではなかなか取り入れられない「スノーボード実習」を取り入れたこと、「雪上運動会」の実施、そして、ルスツの夜空を彩った「花火」は、修学旅行中の皆さんの笑顔とともに、今も脳裏に焼き付いています。

そして、「体育祭」。まだまだ子どもっぽく思っていたみなさんが「役付き」の人だけでなく、それぞれ学年一丸となって同級生・下級生を指導し、体育祭を作り上げていく姿に心の底から感動し、驚嘆しました(雨天のため閉会式が「体育館での実施」になったのは残念でしたが…)

60周年を迎えたヒガスミはこれから70周年、そして100周年と歴史を刻み続けます。連綿と続く伝統を継承した53期生の皆さんに敬意を払うとともに、そのそばでみなさんの成長に寄り添うことが出来たことに感謝しています。これから社会人としてますます忙しくなることでしょうが、機会があればぜひ、ヒガスミの後輩たちの「今」を見て来てやってください。

54期生 平成20~22年度

学校行事

2008年

- 4月 入学式
- 5月 校外学習(笠置キャンプ場)
- 5月 体育祭
- 9月 文化祭

2009年

- 1月 百人一首大会
- 2月 耐寒訓練
- 4月 校外学習
- 5月 体育祭
- 9月 文化祭
- 12月 修学旅行(台湾)

2010年

- 2月 耐寒訓練
- 4月 校外学習
- 5月 体育祭
- 7月 第16回卒業発表会(芸文科)
- 9月 文化祭(コーラスコンクール)

2011年

- 2月 卒業式

世間の出来事 2010年

- 1月 「平城遷都1300年祭」開幕
- 5月 上海国際博覧会(上海万博)開催
- 5月 米アップル社多機能型端末「iPad」国内販売開始
- 6月 サッカーワールドカップ南アフリカ大会で初の決勝トーナメント進出
- 6月 小惑星探査機「はやぶさ」地球帰還
- 10月 チリ北部サンホセ鉱山で落盤事故、33名が無事生還
- 11月 はやぶさ、小惑星「イトカワ」の砂粒を回収。世界初の快挙
- 12月 東北新幹線全線開業

1年	
1組	平井 薫
2組	至田 雅一
3組	富田 年久
4組	西村 弘
5組	清水 洋一*
6組	大森 茂
7組	松本 貴仁
8組	島本 一彦
2年	
1組	平井 薫
2組	島本 一彦
3組	清水 洋一*
4組	富田 年久
5組	大森 茂
6組	松本 貴仁
7組	西村 弘
8組	至田 雅一
3年	
1組	平井 薫
2組	島本 一彦
3組	清水 洋一*
4組	富田 年久
5組	松本 貴仁
6組	大森 茂
7組	西村 弘
8組	至田 雅一

*は学年主任





ヒガスミ革命

54期生学年主任 清水 洋一

54期の卒業アルバムを開いてみました。芸文科の懐かしい面々。卒業発表会では、大勢の観客の前で素晴らしい演奏や出し物を見せてもらい、合間のビデオやパントマイムに大笑いしました。当時も今も芸文科・普通科とも元気だったと言われていますが、そのみんなとチャレンジ旺盛な先生方とでいろいろ学習に学校行事に取り組みました。

「ヒガスミ革命」数年前には、体育祭が、「ヒガスミの本気」として新聞記事にもなりました。それほど完成された体育祭でしたが、練習時間等をより効率的に行うなどの改革を行いながらより一層感動的な体育祭を作り上げました。54期の「ヒガスミ革命」でなしえたことが現在の体育祭の基本形になりました。

「台湾育成高級中学」初めてのことで嫌がっている人もそれなりにいたと思いますが、修学旅行終盤になれば、もう後2・3日は大丈夫と言う人もいました。私たちが育成

高級中学にお世話になってから育成の生徒たちも東住吉高校を訪れるようになり、あのお礼ができるようになりました。グローバル人材育成の一環として海外修学旅行を行いました。生き生きとした生徒たちの顔を見てみると、誰とでも仲良くでき、どこに行こうがおおじしないヒガスミ生に改めて感心しつつ、個人と個人のつながりがグローバル化を推し進める原動力になると強く感じました。

「朝単」家庭学習の充実と一つの事を継続的に成し遂げる力を養う目的で朝の英単語テストを始めましたが、今では学校全体の取り組みになりました。

アルバムの最後にいくつかの詩があります。その中から3篇紹介します。

「三年間で 私の何が変わったのだろう と考えていた
変わったのではなく加わった 夢と希望を手に入れた」
「大嫌いだった勉強を 朝昼晩とやっている 夢を叶える
第一歩 大好きになれる 自分を作るために」
「緊張を ほくしてくれた あのことは「頑張り」よりも「大丈夫」

たった3篇の詩でも6年前の日々が鮮やかによみがえってきます。54期のみんな元気してますか。

55期生 平成21~23年度

学校行事

2009年

- 4月 入学式
- 4月 校外学習(奈良公園)
- 5月 体育祭
- 9月 文化祭

2010年

- 1月 百人一首大会
- 2月 耐寒訓練
- 4月 校外学習(信貴山のどか村その他)
- 5月 体育祭
- 9月 文化祭
- 12月 修学旅行(台湾)

2011年

- 2月 耐寒訓練
- 4月 校外学習(USJ)
- 5月 体育祭
- 7月 第17回卒業発表会(芸文科)
- 9月 文化祭(コーラスコンクール)

2012年

- 2月 卒業式

世間の出来事 2011年

- 3月 東北地方太平洋沖地震発生。国内観測史上最大となる大津波の被害甚大
- 3月 福島第一原発、大地震で事故発生、初の原子力緊急事態宣言
- 3月 九州新幹線全線開業
- 6月 小笠原諸島を世界自然遺産、「平泉—仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群—」を世界文化遺産に登録
- 7月 サッカー女子ワールドカップでなでしこジャパンが優勝
- 7月 テレビ番組のアナログ放送終了

1年	
1組	中出 昇
2組	鱸 研志
3組	奥河 育子
4組	富澤 妙子
5組	山内 千鶴
6組	渡辺 直之
7組	吉田 智子
8組	吉川 憲司*
2年	
1組	中出 昇
2組	渡辺 直之
3組	鱸 研志
4組	吉川 憲司*
5組	吉田 智子
6組	富澤 妙子
7組	山内 千鶴
8組	奥河 育子
3年	
1組	中出 昇
2組	富澤 妙子
3組	山内 千鶴
4組	吉川 憲司*
5組	吉田 智子
6組	鱸 研志
7組	奥河 育子
8組	渡辺 直之

*は学年主任





55期生の思い出

55期生学年主任 吉川 憲司

はじめに、私事ではありますが、この60周年記念誌が発行される年が自分の定年を迎える年と重なり(しかも母校で)、思いがひとしおであります。私が母校に転勤して初めての担任が55期生でありました。8クラス320名でスタートし、(8名の担任も途中替わることなく)3年間で生徒たちは心身ともに成長し、進路実績もかなり上げて卒業してくれました。思い出と言えば、当時流行した新型インフルエンザの影響で大阪府下全校が1週間休校になった事(教師人生で初経験でした!)。最終学年で迎えた本校最大行事の体育祭を本当に成し遂げるのか心配で見守った事(実際は大成功!)。初めての海外旅行を経験する者がほとんどであった台湾修学旅行(現地での学生との交流で物怖じしない55期生にびっくり!)。ここまでできるのか!?

と感心したコーラス大会(各クラスのまとめり、集中度がすごかった!)。そしてあふれる涙をぬぐおうとも思わなかった感動の卒業式(涙腺は呼名段階でゆるみ、卒業の歌~栄光の架け橋~でこらえきれず涙が溢れ出し、退場時ではボロボロ)。本当に素晴らしい学年でした。残念なのは、その4月に4名の担任の先生が転勤となった事です(もちろん転勤先の学校でも活躍されています)。来年度、教育実習で母校に帰ってくるメンバーが多数おります。とても楽しみです! 数年後には社会人となる55期生諸君へ。今後の日本の将来を担うのは君たち若者です。自信と誇りを持って活躍して下さい。

56期生 平成22~24年度

学校行事

2010年

- 4月 入学式
- 4月 校外学習(奈良・東大寺・平城宮跡)
- 5月 体育祭
- 9月 文化祭
- 12月 大縄跳び

2011年

- 1月 百人一首大会
- 2月 耐寒訓練
- 4月 校外学習
- 5月 体育祭
- 9月 文化祭
- 12月 修学旅行(台湾)

2012年

- 1月 球技大会(ドッジボール・サッカー)
- 4月 校外学習
- 5月 体育祭
- 5月 台北育成高級中学との交流
- 7月 第18回卒業発表会(芸文科)
- 9月 文化祭(コーラスコンクール)
- 12月 芸能文化科20周年記念式典

2013年

- 2月 卒業式

世間の出来事 2012年

- 5月 金環日食広域観測、1987年以来25年ぶり
- 5月 東京スカイツリー開業、高さ634mの世界一の電波塔
- 6月 金星が太陽を横切る、今回は2117年
- 9月 沖縄尖閣諸島3島を地権者より政府が購入、国有化
- 10月 山中伸弥氏ノーベル生理学・医学賞共同受賞
- 12月 自民党325議席を獲得し圧勝、政権奪還

1年	
1組	後藤保二
2組	永井和子
3組	北村伸明
4組	大石あかね
5組	玉田知之
6組	松本太郎
7組	藤井繁治
8組	田中有美子
9組	中山博典*
2年	
1組	後藤保二*
2組	吉田正弘
3組	永井和子
4組	松本太郎
5組	北村伸明
6組	大石あかね
7組	玉田知之
8組	藤井繁治
9組	田中有美子
3年	
1組	後藤保二
2組	大石あかね
3組	富田年久*
4組	田中有美子
5組	北村伸明
6組	永井和子
7組	松本太郎
8組	吉田正弘
9組	藤井繁治

*は学年主任





集大成の56期生

56期生学年主任 富田年久

東住吉高校が大きく変革をした54期生から3年目の56期生は、常に成果が求められる厳しい局面に立った学年と言えるでしょう。しかし、その期待に応え成果を出してきたのも56期生だと思います。

体育祭にしても「ヒガスミ革命」から3年目、長居公園での夜練習を知っている学年が卒業し、学校での8時まで練習があたり前になっていくなか、この新しい体育祭を今後数十年続けていける伝統行事として根付かせることが求められました。しかしその重責を見事成し遂げ、練習期間中と本番において素晴らしい感動のある体育祭にしてくれました。

54期生から始まった台湾修学旅行も3年目、海外修学旅行の成功例として総決算が求められました。メインは人との交流です。真理大学との淡水散策、それに育成高級中学との心温まる交流も2年間の経験をふまえ、味のあるかなり深い交流ができたと思います。

また、大学進学を含め進路にも結果が求められました。自習室の活用や学習マラソンを通して、生徒が行きたい進路につかせるのが目標でした。現役で関関同立や国公立大学に多くの生徒が合格することができました。また、何人かの生徒が浪人しましたが、自分の目標である京都大学をはじめ国公立大学に合格したことも素晴らしい結果であったと思います。

そのような結果を残せたのも、先生方と生徒との距離感が程良かった学年であったかもしれません。卒業式で、松本太郎先生が退場の時、神輿を担ぐように生徒に持ち上げられたまま体育館を出て行ったことが象徴だと思います。

卒業アルバムにこのような詩がのっています。

「どれほどの高校生が この東住吉の門を くぐっただろうか 入学と卒業を くり返し見てきたこの門 願わくば私の子孫も この学校の門の前に 立ってあげてほしいな」

こう思って卒業していった生徒たちが多くいたことが56期生の成功のあかしであろうと思っています。56期生の生徒たちが、様々な分野で成長しこれからの社会で輝いてくれることを願っています。

再来年には、56期生の生徒が教育実習生としてやってきます。どのように成長した姿を見せてくれるのか、今から楽しみです。

57期生 平成23~25年度

学校行事

2011年

- 4月 入学式
- 4月 校外学習(南楽園)
- 5月 体育祭
- 9月 文化祭

2012年

- 1月 百人一首大会
- 4月 校外学習(奈良)
- 5月 体育祭
- 5月 台北育成高級中学との交流
- 9月 文化祭
- 10月 修学旅行(北海道)
- 12月 芸能文化科20周年記念式典

2013年

- 2月 耐寒訓練
- 2月 2年合唱コンクール
- 4月 校外学習
- 5月 体育祭
- 5月 台北育成高級中学との交流
- 7月 第19回卒業発表会(芸文科)
- 9月 文化祭(コーラスコンクール)

2014年

- 3月 卒業式

世間の出来事 2013年

- 6月 ユネスコ「富士山—信仰の対象と芸術の源泉」を世界文化遺産に登録
- 8月 イチロー—日米通算4,000安打達成
- 9月 2020年オリンピック開催地が東京に決まる
- 10月 2014年4月からの消費税率8%への引き上げ決定
- 11月 若田光一氏日本人初のISS船長就任のため国際宇宙ステーションに到着

1年	
1組	森山幸雄
2組	谷正隆
3組	細田隆
4組	芝野雄大
5組	至田雅一*
6組	荒木一郎
7組	下農忠司
8組	小林由美
9組	九之池成夫
2年	
1組	森山幸雄
2組	細田隆
3組	小林由美
4組	谷正隆
5組	九之池成夫
6組	芝野雄大
7組	荒木一郎
8組	下農忠司
9組	至田雅一*
3年	
1組	森山幸雄
2組	九之池成夫
3組	細田隆
4組	荒木一郎
5組	谷正隆
6組	小林由美
7組	芝野雄大
8組	至田雅一*
9組	下農忠司

*は学年主任





57期19期 卒業文集より

57期生学年主任 至田 雅一

「入学式」

入学式で心に残っているのは、三上校長先生の「一兎追って一兎得るのは当たり前や！ヒガスミ生やったら二兎追って二兎得る！」という言葉です。私は二つのことを同時にするのが苦手だったので、できるかどうか不安でした。でも、体育祭や文化祭などで先輩や同級生の頑張っている姿を見ているうちに自然とできるようになっていました。

「クラス」

初めてクラス発表を見た時は、先生がどんな人かも分からないし、中学からは一人だけで、楽しく過ごしていくことができるのか不安でした。でもみんな本当に仲が良く、そんな不安はすぐなくなりました。みんなで頑張った球技大会、クラスで食べに行っただご飯、何かあるたびに教室でしたパーティー、クラス最後の日に先生からもらったみんなへの一言メッセージ、今でも全部大切な思い出で大切な宝物です。

「勉強・先生」

私は3年間勉強を頑張りました。勉強が嫌で、やめ方も

分からず泣いたことも何回もありました。でも頑張っていると、たくさんの先生が応援してくれ、声をかけてくれました。頑張りを認めてもらえたようで、とても嬉しかったです。先生という存在がこんなにも優しく、温かいものだと教えてくれたのがヒガスミでした。

「修学旅行」

北海道に着いてすぐ、美唄市にファームステイに行きました。家の方はすごく優しく、晩ご飯には、ジンギスカンを用意してもらいました。本当においしくて、みんなでいっぱい食べました。他にも、旭山動物園に行ったり、アイスクリームを作ったり、ラフティングなどもしました。どれも全部が楽しくて、友達のことももっと好きになったし、本当に楽しい思い出です。

「体育祭」

ずっと憧れていたヒガスミの体育祭では、型を必死で揃えたり、泣きながら練習してひとつのことを皆で一から創り上げる達成感や楽しさを学びました。そして、自分が動けばたくさんの楽しみや発見を得られることが分かりました。

「友達」

私は、人の本気をみんなが応援できて、一人ひとりが頑張ることで刺激し合えるヒガスミ生が大好きです。ヒガスミ以外は考えられないし、本当に自慢の学校です。3年間支えてくれたヒガスミ生、先生、家族、周りの全てのひとに本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。ヒガスミを選んで、ヒガスミに来ることができて本当に良かった。みんな大好き!!

58・59・60 期生 平成26年度

1年		2年		3年	
1組	木原純一	1組	目 智子	1組	磯野 彰
2組	田中有美子	2組	富澤 妙子	2組	中村 和正
3組	土井くみ子	3組	吉川 憲司*	3組	清国 英和
4組	至田 雅一	4組	大西 利也	4組	松原 弘幸
5組	大石あかね	5組	市川 陽	5組	柏谷 弘子
6組	吉見 真弓	6組	野口三四郎	6組	森 修一
7組	中原 哲二	7組	山口 正晃	7組	屋敷 悠
8組	吉岡 高征*	8組	奥河 育子	8組	安達乃里子
9組	浜口 広一	9組	松本 太郎	9組	清水 洋一*
10組	森山 貴史				

*は学年主任



物語り

58期生学年主任 清水 洋一

「私は小学生の時に、近所のお祭りの金魚すくいで、金魚を5匹ぐらいもらいました。私はマンションに住んでいるので、犬や猫が飼えなかったので生き物を飼うのは初めてでした。まず、初めに水槽を買ってもらって、5匹の金魚を育てていました。」

「僕の大切なものはこのグローブです。これはヒガスミの入学祝で買ってもらったものです。ヒガスミには野球部がないと中学の時に言われていたので、中学で道具を全部捨ててしまったので、お父さんに頼みこんで買ってもらいました。」

この二つの話は、2年生の時に、自分の印象に残っている「物」をクラス員の前で「語る」という授業の読み原

稿の冒頭部です。1年生の時は、自分の将来などについて「心に浮かぶもの」をプレゼンし、また別な機会では大学を各自で調べプレゼンすることもしました。2年生の時には修学旅行先の台湾についてプレゼンしました。プレゼンは、代表だけがするのではなく全員がプレゼンします。こういった取り組みで自己をアピールする力や必要な情報を集め取捨選択する力を身につけていったと思います。実際、台湾の修学旅行では真理大学の学生と語り、台湾育成高級中学の生徒たちと一対一で話をする機会がありましたが、話す言葉は違っても、物おじすることもなく自分の思ったことを伝えようとしていました。また、3年生の時は、体育祭の役付き選挙で体育祭に何を求め、それに対する自分の取り組みをアピールする生徒たちを見て、この2年間での大きな成長を感じました。

58期はまさに受験の真っ直中です。54期の取り組みは「自らいろいろなことに取り組む力を持つ生徒を育てる。」でした。この3年間で日々学んだことを思う存分発揮し自らの進路を切り拓いていってほしいと願っています。





59期生の今後

59期生学年主任 吉川 憲司

創立60周年、おめでとうございます。東住吉高校節目の時に学年主任をさせて頂いているのはとても幸せと、感謝しております！59期生は現在、9クラス(360名)が毎日元気に勉強に行事に部活動に参加しています。現在2年生で今後の進路に向けてしっかりと取り組んでいかなければならない学年でもあります。次年度ではリーダーシップを発揮し何事にも先頭を走る学年になって



欲しいと思います。本校最大の行事である体育祭では先輩の後ろ姿を見て、来年は自分が「名乗りを上げるんだ！」と思っている者が数多くいます。頼もしいものです。そして2学年での最大行事である沖縄修学旅行も12月に控えており、生徒諸君はとても楽しみにしています。東住吉の新しい伝統。「二兎を追え」を心に刻み、今後の活躍を願っております。本校卒業生の諸先輩方同様、社会に飛び出し将来の日本を明るく引っ張っていく若者になって欲しいと思います。



60年の伝統、 そして新たなる出発へ

60期生学年主任 吉岡 高征

普通科60期生360名、芸能文化科22期生40名は、今年春、入試の高い壁を乗り越えて入学してきました。特に、今回が初めてであった普通科40名の前期入試は、8.18倍という府下でも最高の競争率が注目を集めました。その普通科は後期入試においても1.31倍の高水準を保ち、また、芸能文化科も1.65倍を記録して、ヒガスマ人気の高さをはっきりと証明しました。こうして「入りたいと思う学校」が維持



されているのは、教職員や生徒たちの頑張りだけでなく、保護者・卒業生のみならず、様々な方々からのお力添えがあればこそなのだろうと思います。



難関を突破して新生活をスタートさせた生徒たちは、校外学習や伝統行事である体育祭、また日頃の部活動などを通してどんどんヒガスマ生らしくなってきましたが、徐々にかれらの抱える課題も見えてきました。まず、学習面でのノンビリさ加減、自主的学習習慣を十分に確立できていない生徒の少なくないことが挙げられます。定期考査における点数や毎週2回の英単語テストでの成績など、心配は尽きない状態ですが、これからの頑張り期待しています。また、部活動への参加率が例年に比べやや低いかな、という点も気がかりです。積極的になりきれていない面があるのかもしれませんが。

記念すべき節目の年の担任団10名は、ヒガスマの伝統を大切にしつつ、新しい視点での取り組みにも向かっていこうと、平均で51.0歳と若くはありませんが意欲を燃やしております。どうぞよろしくお願致します。

芸能文化科

専門科目授業担当者名 特別非常勤講師と本校教員(設置時～) ◆

氏名	平成5年	6	7	8	9	10	11	12	13	14
相羽 秋 夫	芸術鑑賞Ⅱ(1・2年)(H5は1年のみ)									
青 木 繁	芸術鑑賞Ⅰ(1年)									
安 東 伸 元	芸能各論(2年Ⅰ類)									
いいむろなおき										
生 駒 尚 巳	大阪文学演習：文楽理論(3年Ⅰ類)									
石 橋 秋 仁	舞台技術：照明(2・3年)(H6は2年のみ)									
岩 田 重 義	舞台技術：舞台美術(2年)									
上 田 敦 史										
碓 井 節 子										
江 坂 一 平										
大 倉 源 次 郎	創作実習：鼓(2年Ⅰ類) 創作実習：鼓(3年Ⅰ類)									
小 野 木 晋										
河 内 厚 郎	現代文化論(3年Ⅱ類)									
菊 川 雄 士	舞台技術：映像(2・3年)									
杵 屋 勝 欣 次	創作実習：三味線(長唄)(2・3年)									
高 阪 勝 之										
小 早 川 明										
小 林 徳 久										
齋 藤 濟 子										
阪 本 雅 信	舞台技術：舞台美術(2年)									
坂 本 美 加										
笹 川 博 敏	テレビ文化論(1年) 創作実習：創作(3年Ⅱ類)									
茂 山 あ き ら	創作実習：狂言(1年Ⅰ類) 創作実習：狂言(2年Ⅰ類)									
柴 田 千 之	舞台技術：舞台美術(2年)									
下 村 唯										
新 野 新	芸能各論(2年Ⅱ類)									
杉 本 麻 也										

15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
芸能各論(2年I類)						演技表現：古典分野(2年・前期)					
劇表現：古典分野(2年)						舞台演習：身体表現(1年)					
大阪文学演習：文楽理論(3年I類)			芸能各論(3年・前期)								
舞台技術：照明(2・3年)(H6は2年のみ)											
						創作実習：鼓(3年)					
						舞台演習：身体表現(1年)					
						舞台演習：身体表現(1年)					
創作実習：鼓(3年)											
創作実習：鼓(3年I類)											
						舞台技術：音声(2年)		舞台映像技術：音声(2年)		舞台映像技術：音声(2・3年)	
						舞台技術：音声(3年)					
舞台技術：映像(2・3年)											
創作実習：三味線(長唄)(2・3年)						古典芸能：三味線(長唄)(2年)		古典芸能：三味線(長唄)(2・3年)			
						創作実習：三味線(長唄)(3年)					
						舞台演習：身体表現(1年)					
						舞台映像技術：映像(2・3年)					
						舞台演習：身体表現(1年)					
						舞台美術(2年)					
						表現各論：各論I(文楽)(3年)					
舞台芸術論(1年・前期)											
創作実習：創作(3年II類)						創作実習：放送(3年)					
創作実習：狂言(1年)						古典芸能：狂言(1年)					
創作実習：狂言(2年I類)						創作実習：狂言・仕舞(2年・前期)			古典芸能：狂言・仕舞(2年・前期)		
舞台技術：舞台美術(2年)											
						舞台映像技術：舞台美術(2年)					
						舞台演習：身体表現(1年)					
芸能各論(2年II類)											
芸能文化総論(2年)											
						舞台技術：映像(2・3年)		舞台映像技術：映像(2年)		舞台映像技術：映像(2・3年)	
						舞台技術：映像(3年)					

専門科目授業担当者名 特別非常勤講師と本校教員(設置時～)

氏名	平成5年	6	7	8	9	10	11	12	13	14
鈴木正勝										
大阪芸術大学										
高木道明								大阪文学演習：文案仕組(3年Ⅰ類)		
高橋嘉市								大阪文学演習：文案仕組(3年Ⅰ類)		
田中温子		創作実習：三味線(長唄)(1・2・3年)(H5は1年のみ、H6は1・2年のみ)						創作実習：三味線(1・2・3年)		
田中英男			舞台技術：音声(2・3年)							
田原敏孝						芸能各論(3年Ⅱ類)				現代文化論(3年Ⅱ類)
田村耕介										
塚本新一										
津田啓史										
寺田夢酔										
徳田典子										
鳥羽健治								大阪文学演習：文案仕組(3年Ⅰ類)		
富田修好					大阪文学演習：文案仕組(3年Ⅰ類)					
中桜津栄普										
長尾毅敏										
永田知久										
西澤郁司			舞台技術：舞台美術(3年)							
野村武史		舞台技術：映像(2・3年)(H6は2年のみ)								
林家染左										
林家染丸		創作実習：落語(1年Ⅱ類)		創作実習：落語(2年Ⅱ類)						
廣畑秀史										
藤井康雄		芸能鑑賞Ⅰ(1・2年)								
藤田康夫										
藤間豊宏			創作実習：日舞(2年Ⅱ類)							
古川嘉一郎										
古谷忠弘			大阪文学演習：文案理論(3年Ⅰ類)							

専門科目授業担当者名 特別非常勤講師と本校教員(設置時～)

氏名	平成5年	6	7	8	9	10	11	12	13	14
本多正識		創作実習：漫才(2年Ⅱ類)								
前田義信							舞台技術：音声(2・3年)			
町田孝三郎							芸能鑑賞Ⅱ(1・2年)			
松尾 宰								大阪文学演習：文案仕組(3年Ⅰ類)		
丸岡安弥乃							創作実習：三味線(1・2・3年)			
水口一夫			芸能各論(3年Ⅰ類)							
村上健治			芸能各論(3年Ⅱ類)					芸能文化総論(1年)		芸能各論(3年Ⅱ類)
室屋 武			大阪文学演習：文案仕組(3年Ⅰ類)							
盛 加代子										
八木延佳								現代文化論(3年Ⅱ類)		大阪文学演習：文学(3年Ⅰ類・Ⅱ類)
山崎 博										
山路洋平			比較芸能論(3年)							
山本正人				創作実習：謡・仕舞(2年Ⅰ類)						
和田 貢		舞台技術：音声(2年)								
太田(教員)								郷土研究(3年)		
久下(教員)										
栗原(教員)							芸能鑑賞：芸能鑑賞Ⅰ(1・2年)		芸能鑑賞：芸能鑑賞Ⅰ(2年)	芸能特論(1・2年)
後藤(教員)							芸能文化総論(1年)		郷土研究(3年)	
鱈(教員)										
莊司(教員)										
高橋(教員)						郷土研究(3年)				
仲(教員)		芸能文化総論(1年)		郷土研究(3年)						
仲谷(教員)						郷土研究(3年)			芸能文化総論(1年)	
檜垣(教員)									創作実習：箏曲(1年)	
三上(教員)						芸能文化総論(1年)			郷土研究(3年)	
山上(教員)										

15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26		
舞台技術：音声(2・3年)			芸能各論(3年・前期)			表現各論：各論Ⅱ(3年)							
芸能鑑賞Ⅱ(2年)						芸能各論(3年)							
芸能各論(3年Ⅰ類)		芸能各論(3年・後期)				演技表現：古典分野(2年・後期)							
						舞台演習：身体表現(1年)							
劇表現：演劇分野(2年)								演技表現：演劇分野(2年)					
大阪文学演習：文学(3年Ⅰ類・後期)									舞台映像技術：舞台美術(2年)				
比較芸能論(3年)		舞台芸術論(1年・後期)											
創作実習：狂言・仕舞(2年Ⅰ期)		創作実習：狂言・仕舞(2年・後期)				古典芸能：狂言・仕舞(2年・後期)							
						創作実習：放送(3年)		舞台演習：総合(1年)					
								舞台演習：演習総合(2年)					
芸能鑑賞：芸能鑑賞Ⅰ(2年)		芸能文化総論(1年)		芸能特論(2・3年)		芸能特論(1・2・3年)		舞台演習：総合(1年)		舞台演習：総合(1・2・3年)		舞台演習(演習特論)(2年・前期)	
芸能特論(1・2年)		芸能特論(3年)				芸能特論(2・3年)		芸能特論(3年)				舞台演習：芸能史(2年)	
				芸能文化総論(1年)		舞台芸術論：芸能史(1年)						舞台演習：総合(3年)	
				芸能文化総論(2年)		舞台演習：芸術論(2年・前期)							
						古典芸能：CG(1年)							
		芸能特論(1年)											
芸能文化総論(1年)													
		芸能特論(2年)		芸能特論(1年)									

卒業発表会演目(2003年～) ◆

9期生 2003年(平成15年)7月27日

箏 曲 『土人形(つちにんぎょう)』
 日本舞踊 『晒女(さらしめ)』
 狂 言 『延命袋(えんめいぶくろ)』
 仕 舞 『清経(きよつね)』
 舞 囃子 『小袖曾我(こそでそが)』
 落 語 『皿屋敷(さらやしき)』
 演 劇 『プレゼントフォーWho?』
 長 唄 『供奴(ともやつこ)』

11期生 2005年(平成17年)7月23日

箏 曲 『みずうみの詩』
 日本舞踊 『花行路(はなゆきじ)』
 狂 言 『呼聲(よびごえ)』
 仕 舞 『清経(きよつね)』
 舞 囃子 『小袖曾我(こそでそが)』
 落 語 『普請ほめ(ふしんほめ)』
 演 劇 『エチュード劇』
 長 唄 『越後獅子(えちごじし)』

10期生 2004年(平成16年)7月24日

箏 曲 『金襴(きんらん)』
 日本舞踊 『元禄花見踊(げんろくはなみおどり)』
 小 舞 『京童(きょうわらんべ)』
 狂 言 『蟹山伏(かにやまぶし)』
 仕 舞 『屋島(やしま)』
 舞 囃子 『小袖曾我(こそでそが)』
 落 語 『七度狐(しちどぎつね)』
 演 劇 『おかあさんといっしょ!』
 長 唄 『小鍛冶(こかじ)』

12期生 2006年(平成18年)7月22日

箏 曲 『千鳥の曲(ちどりのきょく)』
 日本舞踊 『藤娘(ふじむすめ)』
 狂 言 『梟(ふくろう)』
 仕 舞 『紅葉狩(もみじがり)』
 『経正(つねまさ)』
 舞 囃子 『小袖曾我(こそでそが)』
 落 語 『桃太郎(ももたろう)』
 『蛸芝居(たこしばい)』
 演 劇 『企画会議』
 長 唄 『元禄花見踊(げんろくはなみおどり)』



13期生 2007年(平成19年)7月21日

箏 曲 『日本名曲集』
 日本舞踊 『花形踊り(はながたおどり)』
 狂 言 『呼聲(よびごえ)』
 仕 舞 『田村(たむら)』
 『船弁慶(ふなべんけい)』
 舞 囃 子 『小袖曾我(こそでそが)』
 落 語 『初恋』
 『二人ぐせ』
 演 劇 『狂想曲24時』
 長 唄 『供奴(ともやっこ)』

15期生 2009年(平成21年)7月24日

箏 曲 『日本名曲集』
 日本舞踊 『Maid to order』
 狂 言 『しびり』
 仕 舞 『屋島(やしま)』
 舞 囃 子 『小袖曾我(こそでそが)』
 落 語 『生中継・源平』
 演 劇 『どうー・ゆう・りめんばー』
 長 唄 『小鍛冶(こかじ)』

14期生 2008年(平成20年)7月20日

箏 曲 『時鳥(ほととぎす)』
 日本舞踊 『花競五色舞(かきょうごしきまい)』
 狂 言 『舟船(ふねふな)』
 仕 舞 『紅葉狩(もみじがり)』
 『清経(きよつね)』
 舞 囃 子 『小袖曾我(こそでそが)』
 落 語 『How to プレイボーイ』
 『いらち傳(いらちぐるま)』
 演 劇 『日曜日の夜に…』
 長 唄 『越後獅子(えちごじし)』

16期生 2010年(平成22年)7月23日

箏 曲 『千鳥の曲(ちどりのきょく)』
 日本舞踊 『六傘扇舞(ろっかせんまい)』
 仕 舞 『経正(つねまさ)』
 舞 囃 子 『小袖曾我(こそでそが)』
 狂 言 『竹生島参(ちくぶしままいり)』
 落 語 『貧乏神(びんぼうがみ)』
 演 劇 『いってきます』
 長 唄 『元禄花見踊(げんろくはなみおどり)』



卒業発表会演目(2003年～)

17期生 2011年(平成23年)7月22日

箏 曲 『時鳥(ほととぎす)』
 日本舞踊 『舞桜風(まいおうふう)』
 狂 言 『酔薑(すはじかみ)』
 仕 舞 『経正(つねまさ)』
 『小袖曾我(こそでそが)』
 連 調 『天鼓(てんこ)』
 落 語 『め組火消しカンパニー』
 演 劇 『とある喫茶店の不思議な話』
 長 唄 『越後獅子(えちごじし)』
 CG作品は演目紹介として披露

19期生 2013年(平成25年)7月27日

箏 曲 『千鳥の曲(ちどりのきょく)』
 日本舞踊 『季節の踊り』
 狂 言 『しびり』
 仕 舞 『屋島(やしま)』
 『小袖曾我(こそでそが)』
 連 調 『天鼓(てんこ)』
 落 語 『来世不動産』
 演 劇 『部争戦線』
 長 唄 『小鍛冶(こかじ)』
 CGは映像作品として披露

18期生 2012年(平成24年)7月21日

箏 曲 『日本名曲集』
 日本舞踊 『秋の色種&雷ロック(あきのいろくさ)』
 連 調 『屋島(やしま)』
 舞 囃 子 『小袖曾我(こそでそが)』
 狂 言 『舟船(ふねふな)』
 落 語 『冷蔵庫哀詩(れいぞうこえれじー)』
 演 劇 『ミュージックスタート』
 長 唄 『供奴(ともやつこ)』
 CGは映像作品として披露

20期生 2014年(平成26年)7月26日

箏 曲 『日本名曲集』
 日本舞踊 『恋・家へおいでよ』
 狂 言 『口真似(くちまね)』
 仕 舞 『小袖曾我(こそでそが)』
 舞 囃 子 『田村(たむら)』
 落 語 『ひみつほ』
 『初天神(はつてんじん)』
 演 劇 『タコ戦記』
 長 唄 『元禄花見踊(げんろくはなみおどり)』
 CGは映像作品として披露



主な年間行事(2002年～)

2002年(平成14年)度

- 4月 10期生入学(I類18名、II類22名)
- 6月 1・2年生 歌舞伎鑑賞(LICはびきの)
1・2年生 文楽鑑賞(国立文楽劇場)
- 7月 第8回卒業発表会
3年生 文楽鑑賞・舞台機構研修
- 9月 グリーンストーン先生来校(古典芸能研修のため1年間)
3年生 歌舞伎鑑賞(大阪松竹座)
- 10月 芸能文化科10周年式典
「10周年記念・かがり火による“雅楽の夕べ”」開催
- 11月 中学生等を対象とした「学科説明会・公開授業」を
ワッハ上方演芸ホールにて開催(この時点では、「類」
は廃止の予定」と説明)(11/2)
来年度よりの新カリキュラム(「類」の廃止と「演劇」
の導入)が正式決定されたことにより、中学校への広
報活動を開始(11/28)
- 2月 国立文楽劇場で開催された「第12回“新樹会”公演」に、
長唄『元禄花見踊』と舞踊『祭の賑い』で参加(2/1)
第23回大阪府高等学校芸術文化祭日本音楽部門に、1
年生の箏曲(『金襴])が参加(2/2)

2003年(平成15年)度

- 4月 2年生 京都南座歌舞伎鑑賞教室(南座)
- 6月 1・2年生 文楽鑑賞教室(文楽劇場)
- 7月 住吉中学PTA芸文見学(芸文棟)
泉中学校生徒芸文見学(芸文棟)
玉川中・野村中生徒芸文見学(松竹座)
3年生 大歌舞伎見学
田辺寄席生徒引率(芸文棟)
卒業発表会リハ(芸文棟)
卒業発表会(文楽劇場)
3年生 文楽鑑賞(芸文棟)
- 9月 学科説明会
彦八祭り
- 11月 平野パフォーミングフェスティバル3年生徒参加(落語)
能鑑賞会(大槻能楽堂)
- 12月 3校合同会議(夕陽丘高校)
柴島中学校生徒芸文見学(芸文棟)
学科説明会(ワッハ上方)
教育フォーラム鼓で生徒参加(教育センターで実施)
- 1月 3年生 宝塚歌劇鑑賞会(宝塚劇場)
新樹会稽古(芸文棟)
文楽三業体験学習(文楽劇場)
1年生 能鑑賞会(大槻能楽堂)
- 2月 新樹会発表(文楽劇場)
芸文連箏曲発表(ワッハ上方)
2年生 FM大阪見学(FM大阪)

主な年間行事(2002年～) ◆

2004年(平成16年)度

- | | |
|---|---|
| <p>4月 3年生 歌舞伎鑑賞会(松竹座)
2年生 歌舞伎鑑賞教室(京都南座)</p> <p>6月 1年生 歌舞伎鑑賞会(吹田メイシアター)
1・2年生 文楽鑑賞会(文楽劇場)
3年生 劇団四季鑑賞(MBSホール)
2年生 劇団四季鑑賞(MBSホール)</p> <p>7月 学科説明会(教員対象)(芸文棟)
豊中13中生徒見学
卒業発表会リハ(芸文棟)
卒業発表会(芸文棟)
3年生 文楽鑑賞会(文楽劇場)</p> <p>8月 学科説明会(文楽劇場小ホール)</p> <p>9月 文化庁部長寺脇研氏来校(芸文棟)
学科説明会(芸文棟)
矢田中PTA見学(芸文棟)</p> <p>10月 3校合同学科説明会(アウィーナ)
個別進学相談会(天満マーチャンダイズ)</p> | <p>11月 国立国際美術館新館開館式典に3年生 長唄(国立国際美術館)
朝日新聞社生徒見学(朝日新聞)
平野北中8名見学(芸文棟)
中学校PTA協議会見学(芸文棟)
7学区音楽会三味線発表(松原市民会館)
野田中2名見学(芸文棟)</p> <p>12月 大阪21世紀協会見学(芸文棟)
東京都立中学教員団見学
3年生 読売TVに音声編集に行く(読売TV)
学科説明会(芸文棟)
教育研究フォーラム鼓で生徒参加(教育センターで実施)</p> <p>1月 学科説明会(芸文棟)
新樹会稽古(芸文棟)
若手能鑑賞会(大槻能楽堂)</p> <p>2月 芸文連箏曲発表(ワッハ上方)</p> |
|---|---|

2005年(平成17年)度

- | | |
|--|---|
| <p>4月 2年生 歌舞伎鑑賞教室(京都南座)
3年生 歌舞伎鑑賞会(松竹座)</p> <p>5月 箏曲演奏会(近つ飛鳥博物館)</p> <p>6月 1年生 歌舞伎鑑賞教室(吹田メイシアター)
1・2年生 文楽鑑賞教室(文楽劇場)</p> <p>7月 日本民家博物館見学(吹田市)
芸文科説明会(教員対象)(芸文棟)
卒業発表会リハ(芸文棟)
卒業発表会(芸文棟)
3年生 文楽鑑賞会(文楽劇場)</p> <p>8月 学科説明会(ワッハ上方)</p> <p>9月 NHK5名下見
文化庁日韓学生フォーラム会場下見
中学生対象演劇ワークショップ(八木先生指導)(芸文棟)
3年生 宝塚演劇鑑賞会(宝塚劇場)</p> | <p>10月 三校合同説明会(アウィーナ)
文楽講演会(芸文棟)
日韓学生文化交流会(文化庁)(芸文棟)</p> <p>12月 3年生 読売TVに音声編集に行く(読売TV)
教育研究フォーラム鼓で生徒参加(教育センターで実施)</p> <p>1月 3年生 読売TVにVTR編集に行く(読売TV)
新樹会稽古(芸文棟)
新樹会発表(文楽劇場)</p> <p>2月 芸文連箏曲発表(ワッハ上方)
能鑑賞会(舞台組み立て)(芸文棟)</p> |
|--|---|

2006年(平成18年)度

- 4月 新入生歓迎会
2年生 歌舞伎鑑賞教室(京都南座)
3年生 歌舞伎鑑賞(松竹座)(4/8)
- 6月 1・2年生 文楽鑑賞教室(国立文楽劇場)(6/14)
1年生 歌舞伎鑑賞教室(吹田メイシアター)(6/19)
- 7月 3年生 卒業発表会・本校芸棟(7/22)
(一般公開用リハーサル 7/21)
3年生 文楽鑑賞(国立文楽劇場)(7/25)
- 8月 中学生対象学科説明会(国立文楽劇場小ホール)
(8/25)
- 9月 上方落語協会「彦八まつり」ボランティア参加
(9/2・3)
文化祭(9/15・16)
3年生 宝塚歌劇鑑賞(9/25)
- 10月 3校合同説明会(アウィーナ大阪)(10/21)
- 11月 3年生 亀井小学校と交流(11/22)
- 12月 3年生 劇団四季鑑賞(12/22)
3年生 教育センターランチタイムコンサート(12/25)
- 1月 3年生 演劇選択者 卒業発表会(1/13)
2年生 文楽三業体験(1/17)
2年生 能楽鑑賞(大槻能楽堂)(1/27)
1年生 箏曲発表(大阪府高等学校芸術文化祭)(1/28)
3年生 新樹会出演(国立文楽劇場)(1/28)

2007年(平成19年)度

- 4月 新入生歓迎会
- 5月 3年生 歌舞伎鑑賞(大阪松竹座)(5/23)
- 6月 1年生 歌舞伎鑑賞教室(吹田メイシアター)(6/12)
1・2年生 文楽鑑賞教室(国立文楽劇場)(6/18)
- 7月 2年生 放送選択者 NHK大阪放送局見学(7/19)
3年生 卒業発表会・本校芸棟(7/21)(一般公開用リ
ハーサル 7/20)
3年生 文楽鑑賞(国立文楽劇場)(7/25)
- 9月 彦八まつりボランティア参加(9/1・2)
演劇ワークショップ(芸棟ホール)(9/21・22)
- 10月 3年生 宝塚鑑賞(10/22)
- 11月 3年生 劇団四季鑑賞(11/21)
- 12月 教育センターランチタイムコンサート(教育センター)
(12/25)
- 1月 3年生 宝恵駕行列鳴り物参加(1/10)
2年生 文楽三業体験(国立文楽劇場)(1/16)
3年生 安中小学校交流授業(1/17)
1・2年生 能鑑賞(大槻能楽堂)(1/19)
芸文OBによる15周年公演(ワッハ上方)(1/26)
- 2月 1年生 箏曲発表(芸棟ホール)(2/3)
3年生 演劇選択者 発表会(芸棟ホール)(2/11)
歌舞伎特別授業(芸棟ホール)(2/20)

主な年間行事(2002年～) ◆

2008年(平成20年)度

- | | | | |
|-----|---|-----|--|
| 4月 | 新入生歓迎会
3年生 歌舞伎鑑賞(松竹座)(4/11)
2年生 歌舞伎鑑賞教室(京都南座)(4/25) | 12月 | 教育センターランチタイムコンサート(12/25) |
| 6月 | 1・2年生 文楽鑑賞教室(国立文楽劇場)(6/16)
1年生 歌舞伎鑑賞教室(池田市民会館)(6/23) | 1月 | 3年生 宝恵駕行列鳴り物参加(1/10)
3年生 演劇選択者 発表会(芸棟ホール)(1/18)
2年生 文楽体験学習(国立文楽劇場)(1/20)
1・2年生 能鑑賞(大槻能楽堂)(1/24) |
| 7月 | 3年生 卒業発表会・本校芸棟(7/20)
(一般公開用リハーサル 7/19)
3年生 文楽鑑賞(国立文楽劇場)(7/24) | 2月 | 1年生 箏曲発表(大阪府高等学校芸術文化祭)(2/1)
3年生 天満天神繁昌亭落語鑑賞(2/2) |
| 8月 | 3年生 劇団四季鑑賞(8/21) | | |
| 9月 | 彦八まつりボランティア参加(9/6・7) | | |
| 10月 | 2年生 放送選択者 関西TV局見学(10/10)
3年生 宝塚歌劇鑑賞(10/30) | | |

2009年(平成21年)度

- | | | | |
|-----|---|-----|--|
| 4月 | 新入生歓迎会
2年生 歌舞伎鑑賞・南座 | 11月 | 2年生 劇団四季鑑賞(11/11) |
| 5月 | 3年生 ミュージカル鑑賞(厚生年金会館) | 12月 | 中学生対象学科説明会(12/5)
3年生 教育研究フォーラム・ランチタイムコンサート |
| 6月 | 1年生 歌舞伎鑑賞教室(大阪市中央公会堂)
1年生 文楽鑑賞教室(国立文楽劇場) | 1月 | 3年生 宝恵駕行列鳴り物参加(1/10)
2年生 文楽体験学習
1年生 箏曲発表(大阪府高等学校芸術文化祭) |
| 7月 | 3年生 卒業発表会(本校芸棟)(7/20)
3年生 文楽鑑賞(国立文楽劇場) | 2月 | 3年生 演劇選択者発表会 |
| 8月 | 2年生放送選択者 NHK放送局見学 | | |
| 9月 | 上方落語協会「彦八まつり」ボランティア参加
文化祭(9/11校内のみ・9/12一般公開)
中学生対象学科説明会(9/26) | | |
| 10月 | 2年生放送選択者 関西テレビ放送局見学(10/13)
中学生対象学科説明会(10/24) | | |

2010年(平成22年)度

- 4月 新入生歓迎会
- 5月 3年生 歌舞伎鑑賞(松竹座)(5/26)
- 6月 1・2年生 文楽鑑賞教室(国立文楽劇場)(6/12)
1年生 歌舞伎鑑賞教室(吹田メイシアター)(6/14)
- 7月 兵庫県宍粟市の老人会イベントに出演
(3年生 日本舞踊)
3年生 卒業発表会(本校芸棟)(7/24)
3年生 文楽鑑賞(国立文楽劇場)(7/27)
- 8月 朝日新聞社1F(アサコムホール)での芸能文化科写真展
(8/2~13)
2年生 放送選択者 NHK放送局見学(8/26)
- 9月 上方落語協会「彦八まつり」ボランティア参加
(9/4・5)
地元小学校での敬老の日イベントに出演
(2年生 日本舞踊)(9/20)
中学生対象学科説明会(9/25)
- 10月 2年生 放送選択者 関西テレビ放送局見学
平野区産業フェアイベントに出演
(2年生 日本舞踊)(10/16)
中学生対象学科説明会(10/23)
- 11月 2年生 劇団四季鑑賞(11/10)
- 12月 中学生対象学科説明会(12/4)
3年生 小高交流授業(12/8)
3年生 宝塚歌劇鑑賞(12/9)
3年生 教育研究フォーラム・ランチタイムコンサート
(教育センター)(12/27)
- 1月 3年生 宝恵駕行列鳴り物参加(1/10)
2年生 文楽体験学習(国立文楽劇場)(1/12)
1年生 能ワークショップ(大槻能楽堂)(1/23)
2年生 能鑑賞(大槻能楽堂)(1/29)
1年生 箏曲発表、3年生 長唄発表(大阪府高等学校芸術文化祭)(1/30)
- 2月 3年生 演劇選択者 発表会(2/12)

2011年(平成23年)度

- 4月 新入生歓迎会(4/14)
2年生 歌舞伎鑑賞教室(京都南座)(4/27)
- 5月 3年生 歌舞伎鑑賞(松竹座)(5/26)
- 6月 1年生 歌舞伎鑑賞教室(吹田メイシアター)(6/14)
1・2年生 文楽鑑賞教室(国立文楽劇場)(6/15)
- 7月 兵庫県宍粟市の老人会イベントに出演
(3年生 日本舞踊)
3年生 卒業発表会(本校芸棟)(7/23)(一般公開用リ
ハーサル 7/22)
3年生 文楽鑑賞(国立文楽劇場)(7/27)
- 9月 上方落語協会「彦八まつり」ボランティア参加
(9/3・4)
地元小学校での敬老の日イベントに出演
(2年生 日本舞踊ほか)(9/19)
- 10月 2年生 放送選択者 関西テレビ放送局見学
平野区産業フェアイベントに出演(2年生 日本舞踊)
(10/22)
中学生対象学科説明会(10/22)
- 11月 2年生 劇団四季鑑賞(11/16)
中学生対象学科説明会(11/20)
- 12月 2年生 修学旅行(台湾)にて日本舞踊披露
中学生対象学科説明会(12/17)
3年生 小高交流授業(11/24)
3年生 宝塚歌劇鑑賞(12/5)
3年生 教育研究フォーラム・ランチタイムコンサート
(教育センター)(12/26)
- 1月 3年生 宝恵駕行列鳴り物参加(1/10)
2年生 文楽体験学習(国立文楽劇場)(1/18)
2年生 能鑑賞(大槻能楽堂)(1/29)
ワイズメンズクラブ新年の会にゲスト出演
(2年生 箏曲、3年生 長唄 他)(1/14)
3年生 演劇選択者 発表会(本校実習棟)(1/21)
1年生 箏曲発表、3年生 長唄発表
(大阪府高等学校芸術文化祭)(1/29)

主な年間行事(2002年～)

2012年(平成24年)度

- | | |
|---|--|
| <p>4月 新入生歓迎会(4/12)
2年生 歌舞伎鑑賞教室(京都南座)(4/25)</p> <p>5月 3年生 歌舞伎鑑賞(松竹座)(5/24)</p> <p>6月 1年生 歌舞伎鑑賞教室(吹田メイシアター)(6/25)
1・2年生 文楽鑑賞教室(国立文楽劇場)(6/13)</p> <p>7月 3年生 卒業発表会(本校芸棟)(7/21)
(一般公開用リハーサル 7/20)
3年生 文楽鑑賞(国立文楽劇場)(7/25)
1年生 関西テレビ出前授業</p> <p>9月 上方落語協会「彦八まつり」ボランティア参加(9/1・2)
地元小学校での敬老の日イベントに出演(2年生 日本舞踊 他)(9/17)</p> <p>10月 平野区産業フェアイベントに出演(2年生 日本舞踊 他)(修学旅行のため辞退)
中学生対象学科説明会(10/27)</p> | <p>11月 3年生 小高交流授業(11/8)
高齢者施設慰問(2年生 日本舞踊 他)(11/10)
中学生対象学科説明会(11/17)
3年生 宝塚歌劇鑑賞(11/22)
2年生 劇団四季鑑賞(11/28)</p> <p>12月 中学生対象学科説明会(12/15)
芸能文化科創設20周年式典で2・3年生の邦楽披露(12/14)
3年生 教育研究フォーラム・ランチタイムコンサート(教育センター)(12/25)</p> <p>1月 3年生 宝恵駕行列鳴り物参加(1/10)
2年生 文楽体験学習(国立文楽劇場)(1/16)
3年生 小高交流授業(1/17)
1・2年生 能鑑賞(大槻能楽堂)(1/19)
1年生 箏曲発表、3年生 長唄発表(大阪府高等学校芸術文化祭)(1/27)</p> <p>2月 3年生 演劇選択者 発表会(本校実習棟)(2/2)</p> |
|---|--|

2013年(平成25年)度

- | | |
|--|---|
| <p>4月 新入生歓迎会(4/11)
2年生 歌舞伎鑑賞教室(京都南座)(4/25)</p> <p>6月 1・2年生 文楽鑑賞教室(国立文楽劇場)(6/19)</p> <p>7月 3年生 卒業発表会(本校芸棟)(7/27)
(一般公開用リハーサル 7/26)
3年生 文楽鑑賞(国立文楽劇場)(7/30)
1年生 関西テレビ出前授業</p> <p>9月 上方落語協会「彦八まつり」ボランティア参加(8/31・9/1)
地元小学校での敬老の日イベントに出演(2年生 日本舞踊 他)(9/16)</p> <p>10月 2年生 放送選択者 関西テレビ放送局見学
中学生対象学科説明会(10/26)</p> <p>11月 2年生 劇団四季鑑賞(11/20)
中学生対象学科説明会(11/23)
3年生 小高交流授業(11/28)</p> | <p>12月 中学生対象学科説明会(12/14)
3年生 宝塚歌劇鑑賞(12/10)
3年生 教育研究フォーラム・ランチタイムコンサート(教育センター)(12/25)</p> <p>1月 3年生 宝恵駕行列参加(1/10)
3年生 小高交流授業(1/16)
2年生 文楽体験学習(国立文楽劇場)(1/15)
2年生 能鑑賞(大槻能楽堂)(1/19)
1年生 箏曲発表、3年生 長唄発表(大阪府高等学校芸術文化祭)(1/26)</p> <p>2月 3年生 演劇選択者 発表会(本校実習棟)(2/2)
1年生 能鑑賞体験(大槻能楽堂)(2/15)</p> |
|--|---|

学科運営体制

2003年(平成15年)度

学 校 長	村 田 憲 司
教 頭	二 敷 寛 治
学 科 長	山 上 進
9期担任	荘 司 達 雄
10期担任	仲 谷 和 泰
11期担任	平 井 薫

2006年(平成18年)度

学 校 長	前 川 新 三 郎
教 頭	竹 綱 久 次
学科主任	後 藤 保 二
芸能文化科運営委員	谷 よしえ
芸能文化科運営委員	平 井 薫
12期担任	久 下 英 孝
13期担任	中 出 昇
14期担任	和 田 直 巳

2004年(平成16年)度

学 校 長	村 田 憲 司
教 頭	竹 綱 久 次
学 科 長	山 上 進
芸能文化科運営委員	谷 よしえ
芸能文化科運営委員	荘 司 達 雄
10期担任	田 内 成 人
11期担任	平 井 薫
12期担任	久 下 英 孝

2007年(平成19年)度

学 校 長	前 川 新 三 郎
教 頭	竹 綱 久 次
学科主任	後 藤 保 二
芸能文化科運営委員	谷 よしえ
芸能文化科運営委員	平 井 薫
13期担任	中 出 昇
14期担任	和 田 直 巳
15期担任	下 農 忠 司

2005年(平成17年)度

学 校 長	村 田 憲 司
教 頭	竹 綱 久 次
学 科 長	山 上 進
芸能文化科運営委員	谷 よしえ
芸能文化科運営委員	荘 司 達 雄
11期担任	平 井 薫
12期担任	久 下 英 孝
13期担任	中 出 昇

2008年(平成20年)度

学 校 長	前 川 新 三 郎
教 頭	竜 野 亜 代
学科主任	後 藤 保 二
芸能文化科運営委員	谷 よしえ
芸能文化科運営委員	中 出 昇
14期担任	和 田 直 巳
15期担任	下 農 忠 司
16期担任	平 井 薫

学科運営体制

2009年(平成21年)度

学校長	三上和久
教頭	竜野亜代
学科主任	後藤保二
芸能文化科運営委員	和田直巳
芸能文化科運営委員	森安雄生
15期担任	下農忠司
16期担任	平井 薫
17期担任	中出 昇

2012年(平成24年)度

学校長	原田恵子
教頭	萩原英治
学科長	久下英孝
芸能文化科運営委員	平井 薫
芸能文化科運営委員	岡本美佳
18期担任	後藤保二
19期担任	森山幸雄
20期担任	磯野 彰

2010年(平成22年)度

学校長	三上和久
教頭	芳澤裕之
学科主任	久下英孝
芸能文化科運営委員	下農忠司
芸能文化科運営委員	林出安生
16期担任	平井 薫
17期担任	中出 昇
18期担任	後藤保二

2013年(平成25年)度

学校長	福島秀晃
教頭	萩原英治
学科長	久下英孝
芸能文化科運営委員	後藤保二
芸能文化科運営委員	木原純一
19期担任	森山幸雄
20期担任	磯野 彰
21期担任	目 智子

2011年(平成23年)度

学校長	三上和久・原田恵子
教頭	芳澤裕之・萩原英治
学科主任	久下英孝
芸能文化科運営委員	平井 薫
芸能文化科運営委員	富田年久
17期担任	中出 昇
18期担任	後藤保二
19期担任	森山幸雄

2014年(平成26年)度

学校長	福島秀晃
教頭	萩原英治
学科長	久下英孝
芸能文化科運営委員	後藤保二
芸能文化科運営委員	森山幸雄
芸能文化科委員	樂 慎次郎
20期担任	磯野 彰
21期担任	目 智子
22期担任	木原純一

卒業時の進路(1期生～)

芸文 期生	全体 期生	就職	4年制 大学	短期 大学	専門 学校	その他	備 考	卒業 人数
1	39	6	8	6	10	8	4年指1 短指3	38
2	40	0	8	5	6	16	4年指1	35
3	41	8	15	4	6	6	4年指5 短指4	39
4	42	2	7	8	10	9	4年指1 短指3	36
5	43	4	7	3	9	13	4年指3 短指3	36
6	44	0	13	6	12	10	4年指6 短指6	41
7	45	1	13	9	11	4	4年指8 短指6 4年AO3	38
8	46	2	13	8	6	8	4年指4 短指5 4年AO2 短大AO3	37
9	47	1	15	3	12	6	4年指5 短指2 4年AO4	37
10	48	2	17	5	6	8	4年指3 短指1 4年AO2	38
11	49	2	16	6	4	8	4年指7 短指2 4年AO4 短大AO2	36
12	50	3	10	9	4	11	4年指3 短指6 4年AO3	37
13	51	1	13	6	6	9	4年指4 短指3 4年AO4 短大AO1	35
14	52	1	18	0	13	5	4年指5 4年AO8	37
15	53	0	18	2	11	4	4年指5 4年AO6	35
16	54	0	17	5	8	3	4年指7 短指4 4年AO8	33
17	55	2	13	5	11	7	4年指5 短指4 4年AO8	38
18	56	1	16	2	13	7	4年指3 短指1 4年AO8	39
19	57	1	14	2	10	8	4年指6 4年AO2	35

[備考欄]

4年指…4年制大学指定校推薦入試 短指…短期大学指定校推薦入試

4年AO…4年制大学AO入試 短大AO…短期大学AO入試

総務部

平成22年12月の大阪府教育委員会の「学校組織運営に関する指針」の改訂を受けて、平成23年度より新しく本校の管理運営規程が定められ(平成26年改定)、それに伴い総務部の仕事分担は次のようになった。

- ①式典に関する事項
- ②図書館運営に関する事項
- ③視聴覚教室・機材に関する事項
- ④情報ネットワークに関する事項
- ⑤PTA活動に関する事項
- ⑥広報に関する事項

ここでは、ここ数年の様子も紹介しながら①～⑥について述べることにする。

①式典に関する事項

入学式、卒業式、始業式、終業式、長期休業前後の集会などである。特に卒業式では、芸能文化科の協力を得て卒業生の表情などをビデオ撮影し、式場のスクリーンにリアルタイムで写し好評を得ている。また、56期生よりその映像を編集し、卒業生に後日郵送している。

②図書館運営に関する事項

平成23年度末で図書館司書の方が退職されて以降、図書館司書不在となっている。現在は総務部の教員が輪番で図書館開館業務に当たっている。

学校図書館蔵書管理システムを利用し、学校図書貸し出し返却業務も、バーコードを利用したパソコンでの管理を行っている。

③視聴覚教室・機材に関する事項

図書館棟1階の視聴覚教室は、放課後生徒たちの自習室として開放している。定期考査前には、視聴覚階段教室をも開放することがある。

テレビ放送はデジタル放送に移行したが、視聴覚教室などでは、デジタル放送を受信できる環境になっていない。

④情報ネットワークに関する事項

生徒が利用できる学校情報ネットワーク機器の管理運用が主な業務であり、生徒に校内で使用するIDパスワードの発行などを行う。

平成22年には、中央館4階地学教室に40台のノートパソコンを設置し、第2LAN教室としての運用を行っているが、エアコンが設置されていないため夏の期間利用されないのが残念である。

このほか教員用のネットワークにも関与している。

⑤PTA活動に関する事項

PTA総会をはじめとしさまざまな活動を行っている。公開授業や学年別懇談会、文化祭への参加、進路行事である学習マラソン参加者への差し入れ、親子で大学見学会、社会見学会、生徒会行事であるチャリティマラソンでの炊き出し、年2回校内を花で飾るフラワープロジェクトなどである。また、PTAのOB会であるみどり会も活動している。

⑥広報に関する事項

広報に関しては近年特に力を入れている。3年連続定員割れで、再編整備の検討対象と定めた条例の適用が平成25年度から始まり、広く本校を府下の中学生に知ってもらい、志願者を多く確保するよう努力している。入試制度もここ数年で大きく変更されている。平成19年には9学区が4学区に、平成26年には学区撤廃、平成25年から普通科前期入試が他校で始まり、本校でも平成26年から普通科1クラスを前期入試で募集するようになっていく。また芸能文化科は1クラスを前期入試で募集ということはずっと変更されていないが、普通科については、平成21年より9クラス募集、平成26年には10クラス募集となっている。(平成20年以前は8クラス)

本校の広報活動としては、新入生の中学校への里帰りで生徒から本校での様子を中学校の先生に伝えてもらう、先生方に中学校訪問をしてもらう、10月から翌2月にかけて、校内で中学生向きに学校説明会を行うなど本校のすべての先生方に広報にかかわってもらっている。

教務部 ◆

教務部は、時間割をはじめ、教育課程、学籍・成績管理、授業・校時管理、教科書事務、定期考査など学校運営に関する多くの仕事を受け持っています。直接生徒と関わる部分が薄いので、生徒が意識することはあまりないかもしれませんが、学校運営の根幹となっている分掌です。

学校でどのような授業をおこなうのかということを経営的に配列したものが教育課程です。学校の顔であり、本校でも合格者集会の一番最初に教務部長から説明をさせてもらっています。この教育課程の大枠は学習指導要領によって定められていますが、さらに各学校では、その学校に最適な教育課程を作成し、それに沿って授業を実施することになります。本校でも、どのような教育課程が東住吉高校の生徒のためになるのかを常に考え、検討を重ねてきました。多くの生徒が大学進学を希望する本校においては、大学入試科目の動向も無視できません。この10年においても、生徒のニーズにできるだけ応えられるような教育課程を模索しながら、ほぼ毎年マイナーチェンジを繰り返してきました。普通科においては、入試科目の多様化などにともない、2年次から文系・理系に分かれて学習するようになってきました。高校に入学した1年の間から、将来の進路について考えなければなりません。平成23年度からは、「志(こころざし)学」^{※1}を総合的な学習の時間に取り入れることになりました。このときの教育課程の一部変更によって、2年生からの明確な文理分け・3年生の授業時間数増をおこないました。平成24年度から、いわゆる「ゆとり」からの脱却を背景としておこなわれた数学・理科における新学習指導要領の先行実施に合わせた変更を経て、平成25年度からの完全新学習指導要領に合わせた教育課程を完成しました。この間の教育課程の検討については、より高い視野から東住吉高校の未来を考えて学校の将来像について議論する「将来構想委員会」直轄の事業の一つとして検討を進めました。

新教育課程の実施で、この先しばらくは安泰かと思われた教育課程ですが、実際に運用してみると、やはり改善すべき点もでてきました。今また教育課程PT(プロジェクトチーム)が立ち上げられ、教育課程のさらなる検討が始まっています。生徒のために、よりよい教育課程を提供したいという気持ちに終わりはありません。

この10年で、生徒たちに情報を伝達する手段にも変化が生じています。各種連絡プリント等を生徒配付するだけでなく、教務部でも、生徒配付の月間予定表や考査

時間割などはすぐに学校ホームページにそのプリントのPDFファイルを掲載しています。他にも、前述の教育課程表や現在おこなわれている各授業のシラバス等もアップしております。母校の現在の様子がわかりますので、同窓生の方々も機会があればご覧ください。

学校教育現場の事務作業の電子化はまだ遅れてはいますが、少しずつ変わってきています。コンピュータに入力された成績などのデータの受け渡しも、かつてはフロッピーディスクやUSBメモリなどを介していましたが、校内LANが整備され、ネットワークを介してやりとりすることが普通になりました。各生徒の在籍や成績が書き込まれた原簿である指導要録なども、かつてはその様式を印刷業者に発注し、そこへ担任が手書きしていましたが、現在はすべてコンピュータから入力するものになっています。クラスごとの生徒名票などの印刷物も、大半はコンピュータでデータを作成し、プリンタで印刷するようになっています。

教務部においてもいろいろな業務でコンピュータ化を進めてきたのですが、昨年より、全府立学校に共通の成績・出欠管理等をおこなう「校務処理システム」が導入されました。本校でもそれに合わせて平成25年度より、新分掌「情報管理部」を設置しました。情報管理部3名のメンバーは既存の関連分掌と兼務しながら、新システムの校内での管理業務をおこなっています。調査書・指導要録の作成に加え、今年度後半からは成績処理をこのシステムで実施することになりました。まだまだ始まったばかりで問題もいろいろありますが、このシステムの校内での位置づけは、これからの10年で一番変化を遂げていくことでしょう。

※1「志(こころざし)学」とは、小中学校での教育の基礎の上に、府立高校生が、豊かな人間性や規範意識、マナー等を身につけ、夢や希望、志を持ってよき社会人として自立するとともに、社会についての理解や健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度をはぐくむことを目的とし、平成23年度から府内全域の府立高校で展開することになった。

生活指導部

生活指導の現状

最近の生活指導を振り返れば、総じて学校は落ち着いている。生徒たちが頑張っている面と新しい問題が出て、それへの取り組みが求められる面の両面が見える。

本校の生徒たちはのびのびと育ちながら頑張っている。勉学でもそれぞれが目標を持ち実績を上げている。部活動も、今年は書道部が全国高校総合文化祭に、水泳部、ソフトテニス部が近畿大会に出場するなどすばらしい成績を上げているが、どのクラブも地道に頑張りながら力をつけている。昔からだ、炎天下で汗を拭きながら頑張る姿はまぶしい。

遅刻は大幅減少

最近注目に値するのは遅刻数が大幅に減少している点だ。5年前には総数が1万件近くあった遅刻の数が3分の1近くに減った。今年の7月までの統計でも、昨年より3割近く減っている。

遅刻の大半は自分に対する甘さから起こる。「ちょっとくらい」「だるい」「夜遅くまで勉強しているから」等の気分流されると、知らないうちに生活が不規則になり、遅刻も気にしなくなる。その意味で近年の遅刻数の改善は目を見張るばかりだ。いわば本校生の授業や学校生活に対する、受験勉強に対する自覚の高まりを顕示しているようである。

過去5年間の遅刻・欠席総数の変化(表1)

	年間遅刻	年間欠席
2013年度	3,722	3,442
2012年度	6,290	3,742
2011年度	7,336	4,073
2010年度	9,732	4,023
2009年度	9,758	3,768

ルール違反も少なく

校内では他のルール違反もごく少ない。かつては改善に手がかかった頭髪(茶髪やパーマ)や装身具も見かけることが少なくなり、注意されればすぐに改善するようになっていく。もともと本校では停学など懲戒に至るケースは極少数であるが、今でもそれは変わっていない。

一方で目立つのは挨拶がきちんとできる生徒たちが多くいることだ。校内を歩くと、すれ違うたびに元気な挨拶が返ってくる。本校にこられた方から「多くの生徒が挨拶してくれて気持ちがいい」との感想をよく頂く。毎朝、

先生方は正門に立ったり自転車整理の指導をしているが、正門脇ではクラブの生徒たちが自発的に挨拶運動で並んで声を上げてくれる。おかげで1日が気持ちよく始まる。

これからの課題

もちろん、時代の変化の中で新しい課題も出てきている。一番大きな問題はスマホ(携帯)の問題だ。本校では学校に携帯を持っていくことは許可している。もちろん授業中は出しても、触ってもいけない。それはルールとして定着している。しかし、携帯のほとんどがスマホになって新しい問題が出てきた。ひとつはスマホにつき込む時間が異常な長時間になり、高校生の本務である勉強に差し支えている。これは本校生だけではないが、1日数時間もゲームやラインに費やしてしまう多数の生徒が出てきた。所謂「バズドラの奴隷」だ。この奴隷をいかに解放するか…。もうひとつはライン、ツイッターなどでは面と向かって言えないような人を馬鹿にした言葉で他人の人権を侵害するいじめ、嫌がらせの類が起り始めたことである。インターネットを巡るマナー教育の取り組みが喫緊の問題となっている。

その他の問題では登下校の問題がある。本校生の半数以上が自転車通学だが、こちらの飛び出しや相手の責任での事故が後を絶たない。年間何人か救急車のお世話になる現状である。また、昨今の社会の不安定化に伴い不審者の被害なども出始めている。本校生の場合、体育祭・文化祭などの学校行事、塾への通学で帰りが遅くなる場合も多い。注意を呼びかけている。

いずれにしても大切な高校時代を一生記憶に残る楽しい有意義な時代にするために頑張ってもらいたい。

進路指導部

進路指導部の現状

一昨年より『認める・励ます・応援する』という進路指導部の方針を立て、生徒一人ひとりの進路実現のため、教員は渾身のアシストをします。また、各学年ごとに1年生は「進路を究める」と題して「志」という総合学習と連動させて将来どんな仕事に就いて社会貢献していくのかをじっくり考える1年とし、2年生は「進路を定める」と題して様々な仕事の中で自分が選んだ仕事に就くためには次のステージでどこで何を学ばばいいのかを考えて目標を定める1年とし、3年生では「進路を叶える」と題して目標とした大学、短大、専門学校、就職の第一志望を叶える1年とするという、学年ごとのテーマを設けてそれぞれ「進路」「針路」「伸路」という学年での目標を持って進路指導を行っています。以前に比べると進路行事も増えています。

主な活動は次の通りです。

4月	全学年	スタディサポート
5月	3年	奨学金説明会
	全学年	30時間学習マラソン(希望者)
	3年	進路講演会
6月	3年	進研模試(全員)
	3年	大学説明会
	2年	進路ガイダンス
7月	3年	大学説明会
	2年	進研模試(全員)
	全学年	100時間学習マラソン(希望者)
8月	1・2年	スタディサポート
9月	3年	進研模試(普通科全員)
10月	1年	大学見学会
11月	1・2年	進研模試(全員)
	2年	進路ガイダンス
12月	1年	進路講演会
1月	1年	進研模試(全員)
	2年	河合塾模試(全員)
2月	2年	河合塾英語特別講習(希望者)

この10年の間に本校を取り巻く状況は大きく変化しています。2009年には学区が改変され、2013年には学区が撤廃されるとともに普通科に前期入試が本校にも導入されました。様々な変化に対応し、生徒たちの第一希望を実現できるように2008年からスタディサポートを導入して基礎学力を全国規模で測り、朝のSHRで英単語テストを54期生から始めました。自習室の開室。進路資料室の整備、学習マラソンの実施等、新しい取り組みを始めると共に教員の協力体制も充実させて来ました。

さらに2011年には、将来構想委員会を立ち上げ、進路PTを中心に進路行事の見直しを図り、校内実力テストを廃止し、生徒との面談、懇談の時間の確保に努めてコミュニケーションを密にした進路指導を行っています。スタディサポートの回数を増やし、基礎学力を半年単位で定点観測し、1年2回、2年3回、3年2回の模試を実施し実力推移を図るとともに分析会を開いて教員間の共有を図っています。

「36ヶ月進路計画」と題して入学から卒業までを見通した進路計画を策定し、『認める・励ます・応援する』を柱に各学年ごとの進路テーマを設けて進路指導の充実を図っています。3年0学期を意識させる外部講師を招いての英語特別講習や大学見学、様々な進路ガイダンスを開いて生徒の進路意識を育てる試みを行っています。また、2012年からは他府県の公立高校を視察して、その取り組みを学び、進路の手引きを改訂しています。

2012年には進路実績が上がったことにより「がんばった学校」として評価を受け、教育委員会から降りた特別予算で自習室の机といすを入れ替えて学習環境の充実にあてました。高大連携の強化に取り組み始めています。

ここ数年国公立合格者が20名を越え、京都大学をはじめとする難関大学にも合格者を出し、関関同立、産近甲龍の私立大学にもそれぞれ合わせて150名ほどが合格しています。センター試験の受験者数も年々増加傾向にあります。

今後の課題

模試の実施後の分析会さらに進路以外の教員も含めた情報交換会を実施し、結果の共有化を図ること。「進路の手引き」をより充実した内容に改訂すること。小論文や面接指導を組織化して指導すること。を当面の目標としている。

『二兎を追う』というヒガスマのメインテーマに沿って学校行事やクラブの充実と進路実現を両立させるために時代の変化に対応した様々な働きかけを行い、生徒たちの進路意識を高めるようにしていくことが課題である。

保健体育部

1年間の活動内容は、次のようなものがあります。

- 4月1日 新入生心臓検診・X線検診・身体測定
- 18日 身体測定(全学年)
- 23日 内科・歯科検診(午後)
- ～25日
- 5月1日 防災訓練・検尿1次
- 12日 熱中症予防講習
- 13日 照度検査
- 28日 クリーンアップキャンペーン(放課後)
- 6月5日 検尿2次
- 13日 救急法講習会
- 19日 薬物乱用防止教室(2・3年)
- 24日 プール水質検査
- 9月30日 飲料水検査

- 11月12日 照度検査
- 13日 防災訓練
- 19日 クリーンアップキャンペーン(放課後)
- 1月15日 冬期空気検査
- 2月4日 耐寒訓練

上記以外にも、検診(部活動の夏休み前・修学旅行・勉強合宿・耐寒訓練等)・美化委員会活動・保健委員会活動・冷暖房管理・カーテン整備・安全点検・清掃活動・郊外への検診等、常に生徒達が安全で気持ちよく学校生活を送れるように、さまざまな活動を行っております。また、スーパーバイザーの先生に隔週金曜日に来ていただいて、毎回遅くまで生徒・親・教師の相談にのっていただいております。

生徒会

生徒会は、体育祭・文化祭などの学校行事に大きな働きをしているのは60年間変わらないと思います。生徒会が無ければ、どの行事も成り立たちません。毎回生徒会執行部のメンバーは、縁の下の力持ちとして懸命に働いてくれています。

生徒会にとって、ここ10年で最も大きな企画は、2007年からボランティア部との共催で始めた「東住吉高校チャリティー100kmリレーマラソン」です。目的は、貧困で学校に通えないネパールの子どもたちに、奨学金を贈るための寄付金を集めることです。

現在、JHSS(ジャパン・ハイスクール・スカラシップ)という奨学金制度を作り、300人以上のネパールの小学生たちを支援しています。

生徒会は、この行事の企画立案をします。そして、事前に商店街や駅前などに立ち、賛同して下さる方から寄付金を集めます。当日は、全校生徒から募集したボラン



2013 駅前での募金活動

ティアランナーが、スクールカラーである深緑のたすきを100kmつなぎ完走するためにサポートします。(グラウンド250mのトラックを400周走ります)

2007年に始まり、今年で8年目になります。集まった寄付金も総額220万円を超えました。



2007 校門前で募金活動



2012 寄付金の贈呈式

また、東北大震災発生3週間後、岩手県陸前高田の高田高校支援のためのチャリティー100kmリレーマラソンを企画実施し、短期間で160万円の義援金を集めました。この8年間継続したことにより、東住吉高校には「走

るボランティア」が確実に根付きました。この「チャリティー100kmリレーマラソン」は、体育祭と並ぶヒガスマの伝統行事に成長したと言えるでしょう。



2007 チャリティーリレーマラソン



2008 チャリティーリレーマラソン
全員でラスト1周を走る



2009 チャリティーリレーマラソン



2012 チャリティーリレーマラソン
雨の中を、200人以上の生徒が走り出す



2012 チャリティーリレーマラソン
豪雨の中を100km完走



2013 チャリティーリレーマラソン

陸上競技部



学校創立60周年と共に、陸上競技部も60回目となる春を迎えました。今春、3年生の引退試合となる第67回大阪選手権大会が行われました。この大会での中央大会進出者は、個人13名、リレー4チームでした。近畿大会への出場こそありませんでしたが、近年の強豪私立高校の台頭が著しく、公立高校のついている隙が狭くなっている厳しい現状を見ると、中央大会での個人種目での7位入賞やリレーチームでの準決勝進出などの結果は、素晴らしいものだと見受けられます。しかしながら、過去を迎えればオリンピック選手を輩出し、全国インターハイ常連校であった伝統校です。この黄金時代をもう一度築くため、「努力は嘘をつかない」を合言葉に、週6日練習に励んでいます。今年のシーズンも開幕したばかりですが、来年のインターハイ予選に照準を合わせています。諸先輩方に負けぬように、日々練習に取り組む覚悟ですので、これからも応援を宜しくお願い致します。

サッカー部



現在3年生4名、2年生17名、1年生26名、マネージャー3名の計50名で日々、切磋琢磨し、練習に励んでいます。

昨年、高円宮杯U-18サッカーリーグ2014OSAKAの3部リーグから2部リーグに昇格し、現在2部リーグで戦っています。2部リーグにもなりますと、強豪私学のチームや有名サッカークラブの下部チームが勢揃いしています。そのため、主に土曜、日曜に行われる公式戦では一瞬たりとも気の抜けない、息をつめる試合がほとんどです。春に引退した3年生の穴は大きく、今は苦しい状況です。そのため、練習の時間はみんな必死の形相でグラウンドを走り回っています。練習中や試合前のムード、闘争心の高さは顧問からもお墨付きをいただきました。

これから始まる大阪高校総体では、未だ先輩たちが成し得たことのないベスト16を目指して頑張ります。

ラグビー部



最近ラグビーをする高校生が減っています。「ラグビー」は決して印象の良いものではないと思います。よく友達に「痛そう」「しんどそう」など、そういったことを言われます。しかし、ラグビーというのはグラウンドに立つ一人ひとりが仲間のために体を張るといふ魅力あふれる素晴らしいスポーツです。東住吉高校ラグビー部は普通科公立高校で数少ない単独チームの内のひとつです。しかし、決して強いチームではありません。公式戦でも最近これといった成績を残すことができません。ですが僕たちには他のチームにない何か光るものがあります。それはどれだけ体が痛くても、どんな負け試合であろうか、最後の最後までみんながひとつとなり声を張り上げ、仲間のために体を張りボールを追いかけ続ける根気強さとチームワークの良さです。声の大きさは他校の生徒から「お祭」と呼ばれる程です。そんな東住吉らしいラグビーをこれからも徹底的に続け、徹底的にラグビーを楽しみたいと思います。

男子ソフトテニス部



東住吉男子ソフトテニス部では、3年生5人、2年生17人、1年生17人で活動しています。今年は初めて近畿大会の団体戦に出場する事になりました。正門には大きな垂れ幕がかかっており、部員全体のやる気もますます高まっています。

また、部員それぞれが中央大会、近畿大会出場など目標を立て、外部コーチの指導を仰ぎ、日々目標達成に向かって努力し、練習に取り組んでいます。部活中は一生懸命声を出して頑張っており、先輩・後輩関係なく和気あいあいと、練習に励んでいます。

東住吉高校が60周年を迎えることになり、さらに高い目標を持ち続けられるように頑張っていきたいと思っています。

女子ソフトテニス部



女子ソフトテニス部は、現在2年生7人、1年生7人の14人で活動しています。学年関係なく、とても仲が良いです。練習は自分たちでメニューを考えて、先輩が丁寧に後輩を指導し、一人ひとりが上達できるよう、日々努力を重ねています。

昨年は男子テニス部と合同で兵庫県神鍋で合宿をしました。自然がいっぱいの中で、みんなのびのびと思い切り練習できました。練習後は花火をしたり、ゲームをしたり最高の思い出になりました。

また、外部コーチに熱心に指導していただき、練習内容も充実しています。最近では、羽曳野団体が優勝、ブロック予選で1位通過など練習の成果も出てきています。努力して頑張った分、試合での結果につながっていくので、大変やりがいがあると思います。今後も一つでも多くのペアが予選通過すること、またそこで勝ち上がっていくことを目標としています。

これからも、仲が良く、けじめのあるクラブにしていきたいと思っています。

男子バレーボール部



僕たち男子バレーボール部は、2年生の選手5人、1年生の選手7人、マネージャー1人の計13人で活動しています。

活動はほぼ毎日ありますが、月に1、2回程度の休みがあります。平日の月、水は外練をしたり、トレーニングルームで筋トレをしたりしています。火、木、金は体育館の中で実戦的な練習をしています。他にも、火、木は朝練、土、日は体育館で練習をして、土曜日は筋トレもしています。

男子バレーボール部は、昨年の春に3部から2部に、秋に2部から1部に昇格しましたが、今年の春にもう一度2部に降格してしまったので、今は1部を目指して頑張っています。練習は自分達で考えているので、部員同士のぶつかり合いが起こってしまうこともありますが、その度に結束し、仲の良い部活動であり続けています。男子バレーボール部は、これからも団結して、良い成績を残せるように頑張っていきたいと思います。

女子バレーボール部



女子バレーボール部は、みんなから応援されるチーム、公立高校大会優勝を目標に活動しています。そのためにボールを使った練習だけでなく、筋トレや体幹トレーニングなどにも取り組んでいます。目標を達成できるように一日一日大切に一生懸命練習を頑張っています。また、バレーの技術だけでなく、自分で考えて行動することや最後まで諦めずに取り組むことなど、とても多くのことが学べます。

女子バレーボール部は3年生6人、2年生5人、1年生7人で活動していました。現在、3年生が引退してしまい、1、2年生の新チームで毎日練習に取り組んでいます。この春に1部に昇格しました。このすばらしい先輩たちの成績を引き継ぐことができるように、これからも頑張っていきたいと思っています。

男子バスケットボール部



男子バスケットボール部は現在3年生2名、2年生10名、1年生16名、マネージャー3名を含む計31名で活動しています。

土日を除いた1週間の内、3日間は体育館での練習、1日は外練、1日は基本休みとなっています。体育館を使う部活が多いので、平日はあまり長く練習はできませんが、限られた時間の中で、部員一人ひとりが集中して練習に励んでいます。土日には、通常の練習以外に、練習試合をすることが多く、日々の練習の成果を発揮しています。また放課後の練習以外に朝練と昼練があり、各々自己の向上に努めています。夏休みになると4泊5日の合宿があり、技術の向上と精神の成長を目標としており、バスケだけに打ち込むことができます。

練習は辛く厳しいですが、それを支えてくれる最高の仲間と、乗り越えた時に得られる喜びと達成感があります。是非僕たちと一緒に最高の思い出を作りましょう！

女子バスケットボール部



現在、マネージャーを含めて、1年生(60期生)16名、2年生(59期生)11名、3年生(58期生)3名、計30名で活動しています。

1週間の内、平日の3日間は体育館で男子バスケ部と交代で練習し、1日は外練、残りの1日は基本休みとなっています。土日は基本練習ですが、公式戦や練習試合が入ることもあります。練習時間は短いですが、一人ひとりが意識を高く持ち、日々努力しています。

夏には兵庫県の奥神鍋で4泊5日の合宿があります。夏のウィンターカップ予選に向けて3年生3名を含む新チームで頑張っています。2013年1月に行われた新人大会では、ブロック優勝し、中央大会進出。同じく9月に行われたウィンターカップ予選でブロック優勝(ベスト32)し、中央大会進出を果たしました。中央大会では、1回戦敗退と良い戦績は残せていませんが、今年こそはもっと上へいけるようにチーム一丸となって練習に励んでいます。また、見に来てください。

バドミントン部



現在、バドミントン部は、2年11人、1年12人、計23人で力を合わせながら活動しています。1週間のうち、月・木・土が体育館でシャトルを使っての練習、火・水・金が外で基礎体力作りに励んでいます。また、他校との合同練習や練習試合も積極的に行っており、他校のさまざまな練習メニューを参考にし、自分たちのメニューに取り入れたり、実際に試合をしてみて、普段自分たちでは気がつかないようなアドバイスをもらい、次からの試合に役立てています。年間を通して行われる公式戦で、上に行くことはまだまだ難しいですが、先輩の中には市民大会で準優勝するという素晴らしい成績をおさめた方もいます。なので、先輩に負けないようにこれからも技術面をみがくとともに、あいさつや時間を守るなどの、人として当たり前のことを当たり前に出来るようにしていき、ヒガスミに合った元気な仲の良いバドミントン部にしていきたいと思っています。

器械体操部



OB・OGの皆さん、器械体操部は2年女子1人、1年男子3人、女子3人で限られた時間とさまざまな条件の中、日々自分の課題の克服に向けてがんばっています。皆さんご存知のとおり、体操競技はいろいろな器具上で、日常生活からかけ離れた動きにチャレンジし、その動きを一つひとつつなぎ合わせて演技にするスポーツです。高校から体操をはじめた子がほとんどで、現在、基礎から入り、徐々に難しい技に挑戦し、課題を克服していっています。しかし、思う通りに体を動かすことができず、なかなかうまくいきません。2部ではありながら、団体・個人総合入賞を目標に頑張っています。昨年度は、男子2部個人総合優勝を果たしました。お時間がありましたら、ぜひ東住吉高校の体育館にいらしてください。

男子卓球部



男子卓球部は9人と小規模な部活ですが、1回でも多く大会で勝てるように日々、充実した練習をしています。男子卓球部には四つの特徴があります。一つは少人数であることです。人数が少ないので一人ひとりの課題や自分がしたい練習をすることができます。二つ目は、向上心が強いということです。一人ひとりが苦手なことはその技術が得意な人に聞き克服しようと努力しています。

また、後輩には、少しでも早くうまくなれるように一つひとつ丁寧に教えています。三つ目は先輩と後輩の壁がないということです。休憩中にゲームの話をしたり、練習後にはじゃれたりして、いつもにぎやかにしています。四つ目は設備が整っていることです。卓球台も多く、競技場も使いやすく、きれいです。このような卓球部をよろしく願います。

柔道部



現在、部員数は我々3年生の2名だけになってしまい、大変寂しい状態です。昨年度、今年度と新入生を一生懸命勧誘しましたが、入部してくれる生徒が無く現在に至っています。諸先輩方には本当に申し訳なく思っております。

以下、過去数年間の主な戦績を記載しておきます。

H20年度・インターハイ予選団体 3回戦進出・高校総体団体戦(2部) 第3位

H21年度・インターハイ予選団体 3回戦進出・高校総体団体戦(2部) 3回戦進出

H22年度・インターハイ予選個人-73kg ベスト16(尾田)・高校総体団体戦(2部) ベスト8

H23年度・インターハイ予選団体 2回戦進出・高校総体団体戦(2部) 第3位など輝かしい成績を収めています。

剣道部



剣道部は、現在2年生7名、1年生6名、マネージャー3名の計16名で活動しています。練習は火・水・金・土は小競技場で通常の稽古、月・木はミーティングや勉強会をしています。また月～金は7時45分より朝練もしています。高校入学後に剣道を始めた初心者でも、卒業までにはほとんど2段を取得しています。部の目標は「大会上位進出・段位取得」で目的は「人間形成」で、先輩方が築きあげてくださった伝統を受け継ぎ日々精進しています。主な戦績としては、平成25年の全国大会予選男子個人の部においてベスト32。南河内大会で平成25年、団体戦男子3位、女子準優勝。個人戦では、男女ともに3位に入りました。平成26年団体戦では男女ともに3位、個人戦は、男子、優勝・準優勝、女子は3位に入りました。

これからもお互いに高め合う部活として頑張っていきたいです。

水泳部



私たち水泳部はシーズン期間が短いので、シーズン中は泳げなくなるギリギリの時間まで練習しています。専門的な指導ができる先生がいらないので、トレーナーを中心に練習メニューを作り、日々練習に励んでいます。また、朝練・昼練の時間をもうけ、自主練をしている選手もいます。オフシーズン中は、マラソンや筋力トレーニングなどの基礎体力向上を中心に活動しています。選手のレベルはバラバラなので、一人ひとり目標は違いますが、皆それぞれ自分の目標に向かって頑張っています。夏には4・5回程度、大会に出場しています。そこで、優秀な成績を残している選手も多数います。部員全員が、大会で少しでも良い結果を残せるように頑張っています。このクラブは、部員同士、すごく仲が良いことを生かし、選手同士だけでなく、マネージャーも合わせ切磋琢磨しています。

山岳部



週3回の部活で、トレーニングや山行の準備、設営練習、調理練習、気象図作成等を行います。月1～2回は、大和葛城山・金剛山・岩湧山・六甲山等に出かけ、四季折々の自然を楽しみます。また、高体連主催の登山大会や講習会に参加して登山技術を磨いています。

下記は過去10年間の記録です。

2005年 近畿高校スポーツクライミング大会出場

2006年 近畿登山大会・近畿高校スポーツクライミング大会出場
合宿：奥穂高、北穂高

2007年 合宿：立山、大日岳

2008年 合宿：奥穂高

2009年 合宿：剣、立山、大日岳

2010年 合宿：奥穂高、前穂高、北穂高

2013年 合宿：弥山、八経ヶ岳

2014年 大阪高校春季登山大会4位

今年の合宿は、顧問2名・部員4名が参加し、3泊4日で立山に登ります。H.M.C.の活動は、少人数ながら着実に続いています。

ダンス部



ダンス部は、JAZZ・HIPHOP・FREESTYLEそして、高校のダンス部では珍しいHOUSEの四つのジャンルに分かれて、週3回トレーニングルームで活動しています。現在の部員は、総勢130人になりました。新入生が入ってきたときには、基礎練から始め、お互いに高め合いながら徐々に成長しています。練習の成果は、文化祭はもちろん、その他の学校の行事や校外での大会等で披露させていただいており、そこで使う楽曲の編集や振り付けや構成はすべて自分たちで作っています。

2013年度の文化祭では、PTAの方々から「みどり杯」という栄えある賞をいただき、今後の活動の励みになりました。

これからも、部員一同学校生活も大切にしていこうという意識を忘れず、ダンスの技術をあげていき、表現力を高めていきたいと考えています。

空手同好会



押忍!! 僕たち東住吉高校空手同好会は空手を通じて、最強の精神、最強の肉体を目指し日々稽古に励んでいます。

空手は、日頃の稽古で金的蹴りや関節蹴りといった実戦に対して高い意識を持った練習や「正面に礼」「お互いに礼」などから表れている礼儀を重んじる精神、相手に対する尊敬などが特徴です。これらこそが今日、空手が世界中に広がり、そして親しまれる理由であると思います。

現在、空手同好会は部員が非常に少なく、同好会として活動していますが、できる事に全力を注ぎ、今後、空手同好会の活動がますます活発になっていくよう尽力していきたいと思っています。

硬式野球部



硬式野球部が創部されてから2年が経とうとしています。今では部員は50名にもなり、部員全員が未だ達成する事のできていない、「公式戦初勝利」という目標に向かって日々全力で練習に取り組んでいます。グラウンドでバッティング練習ができないなど、野球部を取り巻く環境は決して良くはないですが、チームとしてその事は絶対に言い訳にしないという意識で、この状況では何ができるかと工夫しながら活動しています。また、野球部の活動を通してしっかりとした礼儀を学び、社会に出た時に通用するような人間になれるように勉強や学校行事なども積極的に取り組んでいます。まだまだ歴史の浅い野球部ですが、自分達がこれから刻まれるであろう伝統の土台となり、しっかりとした野球部を築きあげようと思っています。

追記：みなさんの応援のおかげで平成26年夏、念願の初勝利を手にする事ができましたので、ここに報告させていただきます。

漫画研究部



僕たち漫画研究部は毎週木曜日に活動しています。部員は3年生が9人、2年生が6人、1年生は2人です。兼部をしている人がたくさんいて全員が揃うことは珍しいですが、楽しく活動しています。主な活動内容は年に数回の部誌の発行と体育祭などの行事のパフレットの表紙を描くことです。文化祭の時には部誌を2冊発行します。基本的にこれらの活動以外の日には自由にしゃべったり、イラストを描いたり、中には宿題をしたり、進路選択を相談している人もいました。すごいゆるい部活ですが皆さん絵を描くことが大好きで、部誌の絵も妥協することなくひたむきに描いています。熱中し過ぎて締め切りに間に合わない方も多々いますが…。近頃では高校生漫画甲子園など漫画に関する大会などもありますので、来年からの参加を検討中です。

写真部



写真部は現在2名で活動しています。主に体育祭やチャリティマラソンなどの行事での記録活動を行っています。現在は撮影会や月例会などは、部員が少ないため行っていませんが、部員が増えた場合は行いたいと考えています。

写真部に入ってよかったと思える所は、活動を通じて輝いている人達と出会えることが多いことです。特に体育祭は、準備期間から撮っているのでも、本番までの進行の過程や一つのものを作り上げるということ、形として伝えることができます。これは写真部にしかできないことだと思います。

写真部には長い伝統があり、表彰を受けていた先輩方も多くいらっしゃいます。そのような伝統を受け継ぎながら、部員の獲得、積極的な校外での活動に加え、新たなことに挑戦する部活動にできるよう精進していきます。

演劇部



私たち演劇部は、新入生歓迎会・新人公演・文化祭公演・地区大会(コンクール)と年4回の公演を行っています。普段から芸能文化実習棟という照明・音響・装置のプロ並の設備が備わっている非常に恵まれた場所を使用させていただいています。この場所は、毎年地区大会の会場にもなっており、2007年度には近畿大会へ、近年では大阪府大会への出場をしています。その他の年にも、優秀賞や創作脚本賞、装置や照明などにおくられる舞台美術賞、役者におくられる個人演技賞など多数の賞をいただきました。

脚本から演出まで部員みんなで協力し、一つの舞台をつくりあげていっております。壁に当たり苦勞することもあります。それを乗り越え本番を迎えたときは言葉では表せない感動があり、やってきてよかったと思うことができます。

美術部



美術部は現在、3年生4名、2年生6名、1年生3名の計13名で活動しています。普段は土日以外ほぼ毎日活動していますが、火曜日か水曜日のどちらかにデッサンを必ず一枚描くというノルマがあります。毎年開催される、夏の高校展(大阪府高等学校美術・工芸展)と冬の第七ブロック展の前には、毎日のように活動し、出品する油絵やデザインなどの作品制作をします。出品した作品は、優秀賞や奨励賞などを受賞しています。今年度はさらに、平野区の福祉施設のシンボルマークを描かせていただき、とても貴重な経験をさせていただきました。部員たちは同級生はもちろんのこと、先輩後輩間でも、とても仲が良い部活です。おしゃべりをする時もありますが、絵を描き始めると黙々と描くことだけに集中できる、メリハリのある部活です。今後もそれぞれが互いの個性を尊重し、高め合いながら、展覧会やその他の活動に積極的に参加していきます。

放送部



放送部は現在、部員11名で活動しています。先輩・後輩共に仲良く、そして、楽しく活動している部活です。あまり目立たないようですが、実は様々な場面で活動しています。例えば体育祭です。体育祭では、競技のアナウンスや実況などをして体育祭を盛り上げるのに一役買っています。

また、文化祭では校内放送で音楽をかけながらラジオ番組のようにおしゃべりなどを行っています。日頃の活動では、お昼時に生徒からリクエストのあった曲を流しています。このように、地味なようで、実は重要な仕事を担うのが我々放送部です。去年の部員数より少し少なくなりましたが、あまり堅くならずのびのびと、やる時はビシッとやる。そのような部活を目指して、東住吉高校の縁の下の力持ちとなれるように、これからも精進していきたいと思えます。

吹奏楽部



吹奏楽部は現在、部員23名で毎日和気藹々としながらも一生懸命練習に励んでいます。毎年夏に行われる全日本吹奏楽コンクールでは、大編成の部で金賞、小編成の部では優秀賞をいただくことができました。先輩方に追いつけるように、そして越えられるように、より一層努力していきたいと思っています。

また、私たち吹奏楽部はたくさんの演奏の場をいただいています。学校行事での演奏、地域の方々との交流の場での演奏など、多くの人からの応援や支えがあってこそそのものばかりです。学校の先生方や地域の皆様、保護者の皆様、またOB・OGの方々がたくさん支えていただいていることを忘れずに、常に感謝の気持ちを持って、一つひとつの演奏の場を大切にしていきたいと考えています。「聴いていると誰もが笑顔になれる音楽」をモットーに、ハツラツとしたサウンドと清々しい笑顔をお届けしたいと思います。

茶道部



茶道部は、顧問の九之池先生のご指導のもと、週1回南館2Fの作業室で活動しています。本校創立当初の頃からお世話になっている茶道裏千家淡交会大阪西支部の島田宗洸先生にご指導いただくときもあります。普段は個人のレベルに合わせて帛紗のたたみ方や盆略点前からはじまり、風炉(夏期)や炉(冬期)がそれぞれ一人できるようにしていきます。他にも、棚や茶箱を使用したりもします。毎年7月下旬には生國魂神社の玉秀庵で行われる茶道裏千家淡交会大阪西支部主催の学生茶会に参加し、今年は本席を担当します。他にも、文化祭でお茶席を開設したり、育成高級中学やシュークレスト高校の生徒たちが来校したときには茶道を通して交流を深めたりします。部員数は少ないですが、和気あいあいとした雰囲気です。いつもお稽古に励んでいます。和室でゆっくりしたい方、興味のある方は、ぜひのぞいてみてください。

ESS部



ESS部は、毎週火曜日放課後に、英語を母国語とする先生と一緒に活動しています。活動内容としては、英会話や発音の練習をしたり、ゲームやDVDや音楽鑑賞を通して英語に慣れ親しみ、英会話の力をつけることを目標にしています。

また欧米の行事に合わせ、ハロウィンパーティーやクリスマスパーティーを開いたり、クッキーやスパムおむすびなどを英語のレシピを見ながら作ったりする機会もあります。暗唱大会では、発声や発音の練習を重ね、物語や演説を感情を込めて発表します。夏休みのフィールドワークでは、NETの先生と一緒に京都や神戸に行って、自国の文化を英語で説明したりします。英語が得意な人でなくても、英語や異国の文化に興味があれば楽しく参加できるクラブです。

ギターマンドリン部



ギターマンドリン部は、現在は女子13人、男子1人で活動しています。主にアコースティックギターを弾き語りしていて、今年からバンド形式を取り入れ、タンバリン・マラカス・キーボード等の打楽器の導入を始めました。

発表の場としては、石舞台で行う7月ライブや文化祭です。クリスマスには部内ライブを兼ねて自分の好きな曲を弾き語りして、クリスマスパーティーをします。

週4日で活動していて、去年からは合唱部と合同で老人ホームで演奏しています。初心者でも練習すればすぐにプロのように上達します。

皆で仲良く自由な雰囲気の中で、聴いてくれる人達が喜んでくれるような演奏をしていきたいという一心で練習に励んでいます。

書道部



書道部は現在3年生2名、2年生6名、1年生1名で活動しています。活動日は週に3回と決めています、コンクール前などはほぼ毎日練習しています。

練習内容は各種コンクールや高校展、OB会展などに向けて半紙作品のような小さいものから大きい全紙作品まで、様々な臨書や創作に取り組んでいます。顧問の先生が会議等でおられない時も各自で練習したり、書き足りないと思う部員は家に持ち帰って練習したりする人もいます。また、文化祭やチャリティーマラソン等の学校行事では書道パフォーマンスをしています。パフォーマンスでは部員みんなで気持ちを一つにして作品を書き上げるので、練習から本番まで大変ですが、書き上がった時は大きな達成感があります。

また、書道部では過去に近畿大会に出場した先輩がおられます。さらに平成25年度第37回全国高等学校総合文化祭長崎大会、平成26年度第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会と2年連続で全国大会に出場しました。先輩の活躍される姿を見て、私たち後輩がまた頑張っていかなばと思いました。しっかり後を継いでいきたいと思ひます。

練習や発表をしていく中で書道の技術以外に得るものも多いので、これからも日々書道とともに成長していきたいです。

文芸部



現在、文芸部は3年2人、2年2人、1年1人の計5名で活動しています。7月までは製本以外は各自で原稿を書いていたのですが、夏休み明けから考査前期間や懇談期間を除く、毎週火・木曜日に活動しています。

部誌に関しては、年に5回発行しています。製本する時は、学年、学科問わず、楽しく作業をしています。さらに、今年は特別に、11月ぐらいに「創立60周年記念号」を2014年限定版で発行する予定です。また、ここ最近、明るい話を書いてくれる部員が増えているので、部誌を読んでくださる方が多くなり、とても嬉しく思っています。これからたくさんの方が楽しめる部誌を作れるように頑張ります。

家庭科部



家庭科部は毎週火曜日、調理室でお菓子や料理を作っています。現在部員は1年生4人、2年生4人の計8人で活動しています。顧問の先生も今年替わり、どうなるかと不安でしたが、以前と変わらず楽しくやっています。

去年の文化祭は部員8人と一昨年より少ない人数で、ちゃんとするか心配でした。でも当初の目標よりたくさんの焼き菓子を作って販売することができました。春休みに辻学園調理・製菓専門学校に行き、製菓作りの技術を学びました。普段なかなかやらない慣れないことをしたので、苦戦しながら在校生の方達に手伝って頂いて不器用ながらも無事完成することができました。

最初はなかなか部員が増えず心配でしたが、それなりの人数を確保することができました。まだまだ小規模ですが部員全員が仲の良い楽しい部になれるよう、頑張っていきたいです。

国際ボランティア部



私たち国際ボランティア部は、3年生1人、2年生1人、1年生1人の計3人で活動しています。私たちの部活は、チャリティマラソンが主です。チャリティマラソンの1週間前から駒川商店街で街頭募金をしたり、お店を1軒1軒まわり、募金をお願いをしたりしています。

チャリティマラソン当日は、走るだけではなく、開始前の準備や走り終わった人たちの誘導、周回数のカウント、タイムの記録などを行っています。チャリティマラソンが終われば、商店街で募金をして下さったお店にお礼を言いに行きます。昨年度は、たくさんの方々のご協力で、約35万円という多くのお金が集まりました。この他にも、行事ごとに行っている募金の集計をしたりしています。

私たちは3人という少ない人数で活動していますが、これからもたくさんのボランティアをして、地域の方々との繋がりを強くしていきたいと思っています。

理科研究部



10年前理科研究部は休部状態でした。そこから少しずつ持ち直して今に至ります。現在部員の人数は1年2人、2年5人、引退した3年4人の11人です。2012年から本格的に活動が再開し、玉手小学校のイベントへの参加もこの年にありました。2013年1月からヒガスマ・サンデー・モーニング・サイエンス通称HSMSが始まりました。回を重ねる毎に参加人数が増えていき、今では大勢のリピーターがいます。現在の3年生つまり58期生達が始めた物が今後の理科研究部の活動で最も重要な行事となりました。HSMS以外にも万博公園のサイエンスフェスタにドラム缶演劇の実演で参加したりしています。休部状態から過去にない活発な活動を行っている理科研究部。今後もHSMSやサイエンスフェスタといったイベントに今まで以上に取り組んでいきたいと思っています。

軽音楽部



軽音楽部は現在、約70名ほどで活動しています。私たちは週3回のパート練習のほかにバンド練習を月に2、3回行っています。活動は基本2年生の教室で行っていますが、バンド練習には北Dという教室を使っています。この北Dという教室は部員みんなで作り上げた、楽器・機材などが置いてある宝物です。

私たち軽音楽部は仲がいいことが取り柄ですが、一番誇れるのは“ライブをする側として盛り上げる”ということだけでなく、“ライブを観る側としても盛り上げる”ことです。私たちの盛り上げ方は他校との交流ライブでも賞賛して頂けます。これは、月1回行っている部内ライブで培ったものです。このように私たちは部活内でお互いを高め合う活動を行っています。

私たちは音楽をやっていくだけでなく、人間としても大切な礼儀、挨拶を重視し、毎朝校門に立って、挨拶運動をしています。このように、部活動で多くのことを得られる部活にしていきたいと思っています。

合唱部



私たち合唱部は現在3年生が3名、2年生が1名と部員が少ないですが、アットホームな雰囲気楽しく歌っています。毎年7月に市内の老人ホームに行き、ギターマンドリン部との合同で演奏したり、9月の本校の文化祭ではコンサートを催したり、11月には福井県や滋賀県に行き、他の学校の合唱部の方との交流合同練習もしています。3月にある中之島フェスティバルホールで行われる発表会にも出場させてもらっています。小さなクラブではありますが、これだけ多くのイベントを体験できるし、顧問の先生方も非常に良い先生で、元オペラ歌手の方なので、基礎から本格的に様々なジャンルの曲を学べてとても勉強になります。また、イベント以外でも自分が歌いたい曲を言えば、それも教えていただけるので、自由に楽しく歌えると思います。今後もっと部員を増やしていけたら嬉しいです。

国際交流

東住吉高校が、ここ10年間で新しく取り組んだ企画で、劇的に変化を遂げ、最も成果を上げたのが「国際交流」であると思われます。

東住吉の国際交流には、3本の柱があります。

一つ目は、今年で6回目となる『スタディーツアー』です。大阪天王寺ロータリークラブから、毎年40万円の奨学金を頂けるようになったのがきっかけでした。

東住吉のスタディーツアーの特徴は、欧米・オセアニアへの語学留学だけでなく、アジアの国々へのスタディーツアーを行っていることです。高校生がほとんど行くことのないネパールへのスタディーツアーを行い、自分たちが支援しているネパールの小学生との交流を通して、世界では普通に小学校に通えない子どもたちがいることを知りました。また、フィリピン・セブ島へのスタディーツアーでは、貧困問題に加えて環境問題にも取り組んだりしています。これらのスタディーツアーで、人生観が変わったという生徒が続出しました。

- 2009 アメリカ・シアトル ショークレスト高校訪問
ホームステイ(2010年3月実施)
- 2010 ネパール(チャリティーマラソンで支援している
ネパールの小学校3校訪問)
- 2011 フィリピン・セブ島(マングローブの植樹、孤児
院の訪問、日本語学校での交流、ホームステイ、
電気・ガス・水道の無いカオハガン島での宿泊
体験)
- 2012 ニュージーランド(ホームステイ、学校訪問、
語学研修)
- 2013 ネパール(チャリティーマラソンで支援している
ネパールの小学校3校訪問)
- 2014 ニュージーランド(ホームステイ、学校訪問、
語学研修)



2009 アメリカ・シアトル
ショークレスト高校訪問



2009 アメリカ・シアトル
ディズニーランドにも行きました



2010 ネパールスタディーツアー
シタラ小学校の生徒たちは可愛い



2010 ネパールスタディーツアー
ドゥディソール小学校の全校生徒と記念撮影



2011 フィリピン・セブ島
孤児院を訪問



2013 ネパール・シタラ小学校
すぐに仲良くなったネパールの子どもと記念撮影



2013 ネパール・ドゥディソール小学校
ネパールの子どもたちがすぐに集まってくる



2013 ネパールスタディーツアー
ネパールの子どもたちは、
ヒガスミのお兄ちゃんが大好き

二つ目は、『台湾への海外修学旅行』です。2009年54期生の修学旅行から始めました。メインは、真理大学の大学生との交流と育成高級中学(高校)との交流です。台湾の学生とはもちろん英語で会話するのですが、自分の英語力の無さに気づいたり、文化の違いを肌で感じたりしています。また、帰国後もLINEやFacebookを使って、台湾の高校生と友達関係を続けている生徒も多いです。異文化を知ることにより、卒業後の進路選択に大きな影響を与えられた生徒も数多くいました。

2009・2010・2011・2013(実施)2015・2016・2017(予定)
「台湾修学旅行 台北 育成高級中学訪問 真理大学の大学生との交流」



2009 台湾修学旅行で育成高級中学を訪問
初めて訪れるヒガスミ生を大歓迎で迎えてくれた



2009 台湾修学旅行で育成高級中学を訪問
ダンスクラブを体験 最後に記念撮影



2009 台湾修学旅行で育成高級中学を訪問
育成の女子生徒と記念撮影
嬉しそうなヒガスミ男子生徒たち



2011 台湾修学旅行で育成高級中学を訪問
フェンシングの授業を受ける



2011 台湾修学旅行で育成高級中学を訪問
今回大歓迎 出迎える生徒が、
クラスナンバーを持って待機してくれていた



2011 台湾修学旅行で育成高級中学を訪問
ボクシングの授業を受ける

三つ目は、『海外からの高校生たちが定期的に東住吉高校を訪問』してくれて貴重な交流を体験できることです。

☆2007・2009・2011・2013

「アメリカ・シアトル ショークレスト高校が東住吉高校を訪問」

アメリカ・シアトルにあるショークレストの生徒たちは、数日、東住吉の生徒宅にホームステイをします。ショークレストの生徒たちは、ホストスチューデントと共に学校に通い様々な体験をします。また、ホームステイを受ける側の日本の家庭も、貴重な体験ができます。

☆2012・2013・2014

台湾台北市にある育成高級中学(高校)が東住吉高校を訪問

育成高級中学の生徒たちは、午前中は各クラスに分かれてクラス交流を行い、午後からは体育館で歓迎セレモニーが行われ、放課後はクラブ体験や芸能文化科による日本文化体験など盛りだくさんのメニューで楽しんでもらっています。



2007 ショークレスト高校来校
ホストチューデントとの交流



2011 ショークレスト高校
ホームステイの家族とご対面



2011 ショークレスト高校生及び保護者
ダンス部のパフォーマンスで歓迎！



2011 ショークレスト高校生は、
芸能文化科にて日本舞踊の体験



2012 育成高級中学来校
最後にパディーと共に記念撮影



2012 育成高級中学来校
3年のクラスでの交流風景



2012 育成高級中学来校
3年のクラスで記念品交換の風景



2013 育成高級中学来校
3・4時間目を使っでのクラス交流

現・旧職員一覧

	氏名	着任年月	転退職年月
校長	久保貞夫	H10.4.1	H14.3.31
校長	仲慶謚	H14.4.1	H15.2.6
校長	成山治彦	H15.2.7	H15.3.31
校長	村田憲司	H15.4.1	H18.3.31
校長	前川新三郎	H18.4.1	H21.3.31
校長	三上和久	H21.4.1	H24.2.14
校長	原田恵子	H24.2.22	H25.3.31
校長	福島秀晃	H25.4.1	
教頭	仲慶謚	H10.4.1	H14.3.31
教頭	二敷寛治	H14.4.1	H16.3.31
教頭	竹綱久次	H16.4.1	H20.3.31
教頭	竜野亜代	H20.4.1	H22.3.31
教頭	芳澤裕之	H22.4.1	H24.3.31
教頭	萩原英治	H23.6.6	
国語	松井美智子	H2.4.1	H14.3.31
国語	柴田潤子	H8.4.1	H17.3.31
国語	勝康侑	H7.4.1	H19.3.31
国語	荘司達雄	H11.4.1	H19.3.31
国語	中坂玲子	H10.4.1	H20.3.31
国語	亀田久美子	H8.4.1	H21.3.31
国語	檜垣修	H12.4.1	H22.3.31
国語	吉田允彦	H11.4.1	H23.3.31
国語	平井薫	H13.4.1	H25.3.31
国語	森安雄生	H14.4.1	H24.3.31
国語	後藤保二	H17.4.1	
国語	中野一彦	H18.4.1	
国語	丸岩利衣	H19.4.1	H20.3.31
国語	山内千鶴	H20.4.1	H24.3.31
国語	富澤妙子	H20.4.1	
国語	北村伸明	H21.4.1	H26.3.31
国語	小林由美	H22.4.1	
国語	屋敷悠	H23.4.1	
国語	浅井和子	H24.4.1	H25.3.31
国語	目智子	H24.4.1	
国語	圓井章代	H25.4.1	H26.3.31
国語	土井くみ子	H25.4.1	
国語	吉見真弓	H25.4.1	
国語	徳本恵津子	H26.4.1	
国語	山下太郎	H26.4.1	
社会	西澤宏一	H8.4.1	H14.3.31
社会	三上和久	H10.4.1	H14.3.31
社会	田中康之	H3.4.1	H15.3.31
社会	吉波伸治	H2.4.1	H16.3.31
社会	仲谷和泰	H8.4.1	H17.3.31
社会	太田俊明	H10.4.1	H18.3.31
社会	高橋正雄	H9.4.1	H18.3.31
社会	松村光庸	H9.4.1	H19.3.31

	氏名	着任年月	転退職年月
社会	牛島毅	H8.4.1	H19.3.31
社会	羽山健一	H10.4.1	H20.3.31
社会	桑原正光	H5.4.1	
社会	斉藤善之	H14.4.1	H15.3.31
社会	中出昇	H15.4.1	H24.3.31
社会	延命輝光	H16.4.1	
社会	武林茂樹	H17.4.1	
社会	小林正恒	H18.4.1	H23.3.31
社会	荒木一郎	H18.4.1	H26.3.31
社会	島本一彦	H19.4.1	
社会	大石あかね	H20.4.1	
社会	今西真登	H23.4.1	H24.3.31
社会	中村和正	H23.4.1	
社会	大西利也	H24.4.1	
社会	吉岡高征	H25.4.1	
社会	樂慎次郎	H26.4.1	
数学	滝沢正俊	H2.4.1	H14.3.31
数学	杉村勇二	H3.4.1	H15.3.31
数学	竹綱久次	H10.4.1	H16.3.31
数学	三好重典	H8.4.1	H16.3.31
数学	金戸道明	H9.4.1	H17.3.31
数学	田中賢一	H3.4.1	H17.3.31
数学	坂本信子	H4.4.1	H18.3.31
数学	泉谷比呂志	H12.4.1	H25.3.31
数学	松本貴仁	H14.4.1	H23.3.31
数学	染矢一誠	H16.4.1	H17.3.31
数学	橋本純子	H16.4.1	H19.3.31
数学	小阪義三	H16.4.1	H25.3.31
数学	宮野仁代	H17.4.1	H18.3.31
数学	田中和公	H17.4.1	H21.3.31
数学	下農忠司	H18.4.1	
数学	兵部雅彦	H18.4.1	
数学	大森茂	H19.4.1	H25.3.31
数学	鱸研志	H20.4.1	
数学	松本太郎	H21.4.1	
数学	中村尚司	H22.4.1	H24.3.31
数学	芝野雄大	H22.4.1	
数学	松原弘幸	H23.4.1	
数学	高橋克夫	H24.4.1	H25.3.31
数学	塚中博	H24.4.1	
数学	松向寺通仁	H25.4.1	
数学	中原哲二	H25.4.1	
数学	浜口広一	H25.4.1	
理科	近藤昌宏	H8.4.1	H15.3.31
理科	田代貢	H2.4.1	H16.3.31
理科	西尾明保	H11.4.1	H19.3.31
理科	樋口明	H4.4.1	H19.3.31

	氏名	着任年月	転退職年月
理科	藤原友栄	H9.4.1	H19.3.31
理科	和田吉夫	H12.4.1	H20.3.31
理科	木村良	H13.4.1	H21.3.31
理科	松田研一	H3.4.1	H22.3.31
理科	山上進	H10.4.1	
理科	渡辺直之	H16.4.1	H24.3.31
理科	西村弘	H19.4.1	H23.3.31
理科	宮田明美	H19.4.1	H23.3.31
理科	至田雅一	H19.4.1	
理科	深井正美	H19.4.1	
理科	藤井繁治	H21.4.1	H26.3.31
理科	吉田正弘	H21.4.1	
理科	土井一久	H22.4.1	
理科	橋本啓一	H22.4.1	
理科	安達乃里子	H23.4.1	
理科	市川陽	H24.4.1	
理科	中原克仁	H26.4.1	
保健体育	小林秀彦	H3.4.1	H14.3.31
保健体育	平井文徳	H3.4.1	H15.3.31
保健体育	梅須磨源博	H7.4.1	H16.3.31
保健体育	政真由美	H6.4.1	H17.3.31
保健体育	菊池一人	H5.4.1	H18.3.31
保健体育	田内成人	H10.4.1	H19.3.31
保健体育	田中秀和	H11.4.1	H20.3.31
保健体育	中山博典	H13.4.1	H23.3.31
保健体育	水野義博	H14.4.1	H20.3.31
保健体育	久下英孝	H14.4.1	
保健体育	嶋田大子	H17.4.1	H26.3.31
保健体育	中口隆治	H18.4.1	H22.3.31
保健体育	富田年久	H19.4.1	
保健体育	藤井栄吾	H20.4.1	H25.3.31
保健体育	吉川憲司	H20.4.1	
保健体育	中川哲	H22.4.1	H23.3.31
保健体育	磯野彰	H23.4.1	
保健体育	森修一	H23.4.1	
保健体育	山口正晃	H23.4.1	
保健体育	森山貴史	H25.4.1	
保健体育	成川綾子	H26.4.1	
音楽	大上真紗世	S61.4.1	H14.3.31
音楽	原郁子	H14.4.1	H17.3.31
音楽	竹田紀子	H17.4.1	H22.3.31
音楽	細田隆	H22.4.1	
美術	奥野泰孝	H8.4.1	H18.3.31
美術	近藤祐子	H18.4.1	H23.3.31
美術	柏谷弘子	H23.4.1	
書道	谷よしえ	H9.4.1	H21.3.31
書道	岡本美佳	H24.4.1	

	氏名	着任年月	転退職年月
英語	西村かおる	H12.4.1	H14.3.31
英語	前田静男	H元.4.1	H14.3.31
英語	山田慶文	S60.4.1	H14.3.31
英語	宇佐美和恵	H13.4.1	H15.3.31
英語	坂井章吾	H2.4.1	H15.3.31
英語	重松祐三子	H5.4.1	H15.3.31
英語	横井弓子	H3.4.1	H16.3.31
英語	早川ひろみ	H10.4.1	H17.3.31
英語	宇都宮裕子	H8.4.1	H18.3.31
英語	尾内幸子	H11.4.1	H19.3.31
英語	松矢壽和	H12.4.1	H20.3.31
英語	富士義幸	H12.4.1	H21.3.31
英語	池田佳代子	H14.4.1	H22.3.31
英語	影山恵則	H15.4.1	H16.3.31
英語	並松洋史	H15.4.1	H17.3.31
英語	蜂谷(小松)純子	H15.4.1	H21.3.31
英語	蠣田美穂子	H16.4.1	H18.3.31
英語	中岡照夫	H16.4.1	H22.3.31
英語	中井美穂	H17.4.1	H18.3.31
英語	和田直己	H17.4.1	H22.3.31
英語	徳增多恵	H18.4.1	H19.3.31
英語	林出安生	H18.4.1	H23.3.31
英語	増池淑子	H19.4.1	H22.3.31
英語	清水洋一	H19.4.1	
英語	吉田智子	H20.4.1	H24.3.31
英語	奥河育子	H20.4.1	
英語	小泉賢一郎	H21.4.1	H25.3.31
英語	田中有美子	H21.4.1	
英語	中原光子	H22.4.1	H24.3.31
英語	清国英和	H22.4.1	
英語	九之池成夫	H22.4.1	
英語	谷正隆	H22.4.1	
英語	森山幸雄	H22.4.1	
英語	斉藤雅史	H23.4.1	H24.3.31
英語	大槻真理子	H23.4.1	H25.3.31
英語	三宅弘子	H24.4.1	H26.3.31
英語	中尾俊之	H24.4.1	
英語	野口三四郎	H24.4.1	
英語	安江まり子	H24.4.1	
英語	山田祐子	H25.4.1	
英語	木原純一	H25.4.1	
英語	山田麻理	H26.4.1	
家庭	樋上ひろ美	H12.4.1	H15.3.31
家庭	千原加容子	H9.4.1	H17.3.31
家庭	辻克世	H12.4.1	H26.3.31
家庭	宮田早永子	H15.4.1	H21.3.31
家庭	太田礼子	H16.4.1	H17.3.31

現・旧職員一覧、今後の展望

	氏名	着任年月	転退職年月
家庭	永井和子	H21.4.1	H25.3.31
家庭	嶋田栄美子	H25.4.1	
家庭	田中温子	H26.4.1	
情報	玉田知之	H20.4.1	H26.3.31
情報	今井尚人	H26.4.1	
養護	伊藤久美子	H13.4.1	
養護	佐藤環	H19.4.1	
養護	平畑美樹	H25.4.1	H26.6.11
図書	小松聡子	S39.4.1	H18.3.31
図書	河合玉子	H18.4.1	H24.3.31
事務長	日野富和	H13.4.1	H15.3.31
事務長	嶋地孝行	H15.4.1	H20.3.31
事務長	蔵内重俊	H20.4.1	H22.3.31
事務長	樋野正年	H22.4.1	H26.3.31
事務長	松原久雄	H26.4.1	
事務	山下亨	H11.5.1	H15.3.31
事務	田之上修	H10.4.16	H17.3.31
事務	宮部治男	H13.4.16	H17.3.31
事務	長井有紀子	H12.4.27	H18.3.31
事務	川端きよみ	H15.4.1	H16.3.31
事務	湊川登	H16.4.1	H19.3.31

	氏名	着任年月	転退職年月
事務	土屋敬一	H17.4.1	H20.3.31
事務	梶山順子	H18.4.1	H22.3.31
事務	木村幸治	H19.4.1	H23.3.31
事務	植林保	H20.4.1	H23.3.31
事務	西野正幸	H20.4.1	H24.3.31
事務	清原美生	H22.4.1	H25.3.31
事務	鈴木保孝	H23.4.1	
事務	坂本弘	H24.4.1	
事務	堤均	H25.4.1	
技師	上田卓也	S59.4.1	H15.3.31
技師	鈴木佐代子	H4.4.1	H16.3.31
技師	堂山太三	H15.4.1	H18.3.31
技師	佐藤則之	H16.4.1	H21.3.31
技師	松中孝治	H18.4.1	H23.3.31
技師	永橋春三道	H23.4.1	
T-NET	マイケルグリーン	H15.4.1	H16.3.31
T-NET	マリッサバルドス	H16.4.1	H17.3.31
T-NET	セラナカワキ	H17.4.1	H20.3.31
T-NET	エノレワウオレス	H20.4.1	H22.3.31
T-NET	ナカタケルシー	H22.4.1	H26.3.31
T-NET	イーゲンマロイ	H26.4.1	

現教職員



今後の展望

21期生 社会科 進路指導部

島本一彦

この10年の変化を振り返ってみて、今から10年後、さらに創立100周年に向けての展望といっても、正直、どのような変化が東住吉に起こるか想像もつかない。ただ、はっきりしていることはこれまでの60年の歩みの延長線上にその変化が続くということである。

多くの先輩方から受け継いできた東住吉の伝統、母校を包む雰囲気といった幹の部分は変わることはないと思う。

この10年の間に学区改変、学区撤廃、普通科前期入試の導入といった大阪府全体の変化。学校行事では「ヒガスマ革命」と銘打って午後8時まで学校で体育祭の準備を認める代わりに一切外部での夜間練習の禁止。「集中と切りかえ」を意識した体育祭になった。また、東日本大震災後は岩手県立高田高校への支援を続けている。生徒会行事としては11月のボランティアマラソンが定着し、集まった資金をネパールの小学生の奨学金として活かしている。

進路関係では自習室の開設。年2回の学習マラソンの導入。スタディサポートや全員模試の定着。大学見学や大学の模擬授業。様々な機会に外部講師を招いての進路ガイダンス。「志」という総合学習と連携してのキャリア教育も定着した。以前に比べると教師と生徒が面談をする風景を見る機会が増え、コミュニケーションが密になってきている。

国際交流も盛んになり、台湾台北市の育成高級中学との交流や台湾修学旅行。スタディツアーの実施。訪れた国はアメリカ、ネパール、フィリピン、ニュージーランド。

中学生に向けた学校説明会も増え、昨年度は普通科、芸文科、生徒、保護者合わせて1,794名が来校した。平成26年度の普通科前期入試では8.18倍という大阪府の公立高校で最も倍率の高い入試であった。

ヒガスマは元気と人気と勢いのある学校としての認知度が定着しつつある。私は母校に帰って今年で8年目を迎えるが、赴任した頃に比べて生徒の遅刻、欠席が格段に減り、一日中出会う生徒たちは気持ちよくあいさつを交わし、本当に居心地のよい素晴らしい学校だと思う。進路を訪ねてこられる外部の方からも卒業生が次のステージで頑張っていてリーダーシップを発揮してくれているとか他校の出身者に比べて就職の決定率がいいとかお褒めの言葉をいただく機会も多い。

故三上校長の『二兎を追え』という言葉は学校全体の共通認識となっている。これまでの礎の上に様々な取り組みを始めたことは確実に成果を生んでいる。今後、さらに時代の変化に適応して新たな取り組みにチャレンジするとともに今取り組んでいることをしっかりと定着させて創立100周年に向けてよりよい母校にしていきたい。最後に一言『ヒガスマ最高!!』

年次別卒業生数

回	年度	卒業生数			累計	クラス数
		男子	女子	合計		
1	昭和33年	67	69	136	136	3
2	昭和34年	66	73	139	275	3
3	昭和35年	160	131	291	566	6
4	昭和36年	182	186	368	934	8
5	昭和37年	216	181	397	1,331	8
6	昭和38年	205	168	373	1,704	8
7	昭和39年	205	163	368	2,072	8
8	昭和40年	265	177	442	2,514	9
9	昭和41年	323	222	545	3,059	11
10	昭和42年	326	227	553	3,612	11
11	昭和43年	343	200	543	4,155	11
12	昭和44年	308	181	489	4,644	10
13	昭和45年	314	181	495	5,139	10
14	昭和46年	306	159	465	5,604	10
15	昭和47年	287	175	462	6,066	10
16	昭和48年	268	196	464	6,530	10
17	昭和49年	273	173	446	6,976	10
18	昭和50年	298	191	489	7,465	11
19	昭和51年	297	193	490	7,955	11
20	昭和52年	277	217	494	8,449	11
21	昭和53年	242	198	440	8,889	10
22	昭和54年	240	208	448	9,337	10
23	昭和55年	267	228	495	9,832	11
24	昭和56年	297	265	562	10,394	12
25	昭和57年	283	276	559	10,953	12
26	昭和58年	290	276	566	11,519	12
27	昭和59年	286	267	553	12,072	12
28	昭和60年	308	255	563	12,635	12
29	昭和61年	271	288	559	13,194	12

回	年度	卒業生数			累計	クラス数
		男子	女子	合計		
30	昭和62年	279	283	562	13,756	12
31	昭和63年	284	273	557	14,313	12
32	平成元年	291	283	574	14,887	12
33	平成2年	300	268	568	15,455	12
34	平成3年	293	285	578	16,033	12
35	平成4年	264	306	570	16,603	12
36	平成5年	268	282	550	17,153	12
37	平成6年	223	309	532	17,685	12
38	平成7年	217	249	466	18,151	11
39	平成8年	195	243	438	18,589	11
40	平成9年	201	232	433	19,022	11
41	平成10年	161	233	394	19,416	10
42	平成11年	171	214	385	19,801	10
43	平成12年	159	226	385	20,186	10
44	平成13年	153	239	392	20,578	10
45	平成14年	175	218	393	20,971	10
46	平成15年	151	201	352	21,323	9
47	平成16年	150	204	354	21,677	9
48	平成17年	150	207	357	22,034	9
49	平成18年	135	179	314	22,348	9
50	平成19年	137	178	315	22,663	9
51	平成20年	143	166	309	22,972	9
52	平成21年	151	160	311	23,283	9
53	平成22年	135	169	304	23,587	9
54	平成23年	142	168	310	23,897	9
55	平成24年	130	186	316	24,213	9
56	平成25年	157	199	356	24,569	9
57	平成26年	144	201	345	24,914	9
58	平成27年	161	194	355	25,269	9

平成27年は予定

記念事業報告 ◆

創立60周年記念事業概要

1 記念式典・記念行事

日 時 平成26年11月15日(土) 午前の部 9:00~11:30
 午後の部 13:30~16:30

式 場 本校体育館

午前の部式次第

- 1 開式の辞
- 2 国歌斉唱
- 3 校歌斉唱
- 4 委員長挨拶
- 5 校長式辞
- 6 生徒会会長挨拶
- 7 来賓紹介
- 8 祝電披露
- 9 記念品紹介
- 10 記念講演
にしゃんた氏(羽衣国際大学准教授)
- 11 閉式の辞

午後の部第一部式次第

- 1 開式の辞
- 2 委員長挨拶
- 3 校長挨拶
- 4 生徒会会長挨拶
- 5 閉式の辞

午後の部第二部記念行事次第

- 1 在校生による発表
 - ①吹奏楽部
 - ②芸能文化科
 - ③ダンス部
- 2 卒業生と在校生をつなぐ
パネルディスカッション
 - ①卒業生代表
島崎(田中)章(3期)
武林茂樹(14期)
久下英孝(28期)
豊田(小倉)美喜子(30期)
森本 愛(50期)
 - ②在校生代表
- 3 閉会宣言

2 記念誌 A4判、86ページ、2,300部

3 記念事業 空調設備(3年生教室、化学講義室、緑友会館2階)

4 60周年記念事業実行委員会委員

委員長	塩谷俊雄	緑友会会長
副委員長	能登康宏	緑友会副会長
書記	坂田繁数	緑友会副会長
副委員長	松本昌二	みどり会会長
副委員長	宇野亮三	後援会会長
副委員長	蒲生泰宏	PTA会長
書記	平澤智子	PTA副会長
顧問	福島秀晃	校長
事務局長	萩原英治	教頭
会計	松原久雄	事務長
事務局次長	延命輝光	学校
事務局次長	中野一彦	学校
事務局次長	久下英孝	学校

記念式典部会 鱸 研志(学校) 下農忠司(学校)

記念事業部会 富田年久(学校) 吉田正弘(学校) 武林茂樹(学校)

津地嘉代子(みどり会)

記念誌部会 岡本美佳(学校) 島本一彦(学校) 石塚日路子(みどり会)

編集後記

60周年記念誌の作成にあたっては、50周年記念誌の後を受け、直近10年間に重点をおいて編集いたしました。

わずか10年間ではありますが、この間の東住吉高校の変化・成長は目覚ましいものがありました。記念誌を見られた方々に、東住吉高校10年の歩みを振り返って頂ければ幸いです。

記念誌作成にあたり、緑友会、PTA、みどり会等々多方面から多大のご協力を頂きました。また原稿依頼を快く引き受け、原稿を書いて下さった多くの皆様、快く多くの写真をご提供頂いた(株)三木写真工芸社様、制作をご担当頂いたダイコロ(株)のご担当者の皆様、本当にありがとうございました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

大阪府立東住吉高等学校創立60周年記念誌

発行日	平成26年11月15日	制作	株式会社三木写真工芸社
発行	大阪府立東住吉高等学校 〒547-0033 大阪市平野区平野西2-3-77 TEL 06-6702-3838		〒534-0024 大阪市都島区東野田2-9-25 TEL 06-6351-0817
編集	創立60周年記念誌編集委員会	印刷	ダイコロ株式会社 http://www.daicolo.co.jp

Since
1954-2014